評值	西対象年度	平成 21年度	事	務事業評	価 表	<一般用	>				様式1
	事務事業		務薩摩	摩義士顕彰会運営	支援事業			担		総務部	
	コード 政策名		<b>業名 隆度</b> きあうまちつ	s/n				担	当課ループ	総務課	<b>光</b> 准字
	施策名	, , , , ,	て化の保存・網						話番号	45-5111	
- 基	本事業名		化を学ぶ	PE/T					線番号	1145	
	会計	一般会計	.,,			□単年月	度のみ				
	予款	2 総務費	ł		事業期間	■ 単年原	度繰返	(開始年月	<b>€</b> H 17	年度~	)
	算 項 科	1 総務管			ادار	□期間降	限定複	数年度(	~		)
		1 一般管	管理費		根拠法令・	特になし					
	コード 関連計画	701120			条例等						
	現状把握	(1)事務事業の (1)事務事業の	)目的と指揮	< Do >							
1 .		( T) - 6/1-1-2-2-2	ノロロリこう日本					平成2	21年度実績		
神を とも を学	暦4年(1754年 後世に永く伝 に、さらに詳し	<ul><li>の木曽川治水コ えるため、薩摩義 い調査研究を進め</li><li>「児島県や岐阜県</li></ul>	士顕彰会を組 める。また、姉妹 にある薩摩義	<ul><li>(x)における薩摩義士 は織し、薩摩義士が残 味都市である岐阜県 士顕彰団体との連携 を養士慰霊祭へ参</li></ul>	とした業績と精ね 海津市の「報恩 きを深める。	神を顕彰すると 『感謝』の気風	主な	事務事業の	概要と同様		
隼丿	、地区に墓のは	らる薩摩義士「山テ	元八兵衛」の研	経験工思・最大の 野究及び慰霊墓参、 動推進室が担っている	<b>產摩義士研修会</b>	の気風を学ぶ、会の開催、広報	活動	平成2 前年度と同	2 <b>2年度計画</b> 様		
	活動指標(	事務事業の活動量	量)			単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	総会の開催					旦		<u> (天順)</u> 1	(天順)	(元 <u>区)</u> 1	(元匹)
1	薩摩義士慰霊	整条参加者数				人		33	40	40	40
ウ 「山元八兵衛」慰霊墓参参加者数						人		46	48	50	5(
		生、何を ・象にしているのか	対象	指標 (③対象の	大きさを 表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市民	SILO CV SON	人口		K / Inth/	人		127,450	127,662	128,640	128,868
1	薩摩義士顕章	(	薩摩義十	顕彰会会員		人		113	120	130	150
ゥ			1027-92	20 D A A 20					120		
-	意図(対	才象を どうしたいのか	」 成果	指標 (⑤意図の 達成度	を表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	薩摩義士の崇高な 神を後世に永く伝	:精神を学ぶとともにその	n ykalt.	顕彰会の事業参加者		人		179	187	200	220
1	TI EXELLATION										
ウ											
	結果 (と	`んな結果に 結び付けるのか〉	上位		告果の達成度 ・表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア		化を学び郷土を	fen.			%		79.7	80.8	73.0	74.0
1	ることができる	0									
	事業費			【(2) 寛政商業の	電接亦ル. 仕	尼奈日祭					
( 4 ,		21年度	22年度	(3)事務事業のここの事務事業			3	事務事業を	⋮取り巻〈環	境は、開始	 台時期又
		(決算)	(予算)	きっかけで開	始されたのか	١?	l	は5年前と	比べてどう		
予	当初予算額	270	262	市町合併により霧息 まで各市町で個別			特にな	L			
算	補正予算額	20		関する団体や個人	を集約し、市と	して一体性の					
額	予算合計	290	262	ある取り組みを行う 士顕彰会を組織し		十皮に熣摩莪					
	国庫補助金	0		この事務事業			ī	この事務事	業に対する	 3議会から	出された
	県支出金	0		見や要望が寄	子せられている	るか?	意	意見			
決質	地方債	0		薩摩義士に関係す め、霧島市内にある					を育成する	必要があるの	つではない
算額	その他	0		本化を図る必要が					<b>∟</b> o		
	一般財源	290									
	支出合計	290									

	条事業 ード	701120	事 務 事業名	事務 事業名 薩摩義士顕彰会運営支援事業							担 当 部 総務部     担 当 課 総務課				
N.				F成21年度	(決算)		平成22年度 (当初予算)			予算)	平成23年度 (見込)				
		単位∶千円	単独	補且		計	単独		補助	合計	単独	補助	合計		
1	報	酬													
2	給	料													
3	職員	1 手 当 等													
4	共	済 費													
7	賃	金													
8	報	償 費	7	70		70	ţ	50		50	50		50		
9	旅	費													
10	交	際費													
11	需	用 費		20		20		12		12	12		12		
	消		2	20		20		12		12	12		12		
	燃	料費													
	食														
		刷製本費													
		熱水費													
	修	繕 料	ļ												
40	ζЛ	<b>Z</b> ⁄2 ≠=	1												
12	役逼	務費	<u> </u>												
	坦広	信運搬費告料	<u> </u>												
	手		1												
	保														
13	<u> </u> 体 委	託料	20	20		200	20	20		200	200		200		
14			20	50		200	20	,,,		200	200		200		
15		請 負 費													
16		材料費													
17		財産購入費	1												
18		開入費													
19		· 補助·交付金													
20	扶	助費													
21	貸	付 金													
22	補償補	填及び賠償金													
23	償還金	利子·割引料													
24	投資	及び出資金													
25	積	立 金													
26	寄	附 金													
27	公	課費													
28	繰	出 金													
		計	29	90		290	26	52		262	262		262		
		国													
	11b	県													
	地	方 債													
財源	辺過														
源 内		併特例債													
訳		计付例俱													
	そ	の他	1												
			29	90		290	26	32		262	262		262		
		<u>計</u>	29			290		62		262	262		262		
	<b>*</b>	国	<u> </u>				_								
7	甫助率	県													
補	助	基本額													
平	当	初 予 算			270	千円			平成 21 年	度 財源内	訳の「その他	」の内訳			
成		正 予 算				千円									
21	第1	回		20 第5回				L							
	第2	回		第6回					参加費等の	の事業実施の	のための収 <i>)</i>	説明			
年	第3			第7回											
度	第4			第8回											
	予〔	算 合 計			290	千円									
		-													

	務事業 ]ード	701120	事 務 事業名	薩摩義士	顕彰会運	営支援事業	担当部総務部担当課総務課				
2	評価の音	ß <see></see>				評価			評価理由		
A	・こ <i>の</i> (基ス	本シートの結り	目的は基本事果)に結びつく			ついている す必要がある	は、現在をおして	続く岐阜県民の	薩摩義士	義士の偉業を顕彰すること :に対する報恩感謝の気運 統文化を大切に思う心を育 びつく。	
目的妥当	・この	?	<b>当性</b> 市が行わなけぇ 、達成する目的		■ 妥当 <sup>-</sup>	である す必要がある		、地域の伝統文		、薩摩義士について顕彰を 郷土を知る上で非常に有効	
性評価	対象	・意図の妥				である を見直す必要がある を見直す必要がある	知ってもら	っうため、対象を市 な精神を広く市員	「民・顕彰 民に学んて	■義士の偉業を広く市民に 会会員とした。また、薩摩義 きもらうことにより、伝統文化 図としても妥当である。	
В	·成!	<b>の向上余</b> り 果指標の現状 せることができ	:値をあるべき	水準まで向	□ 向上:	余地はない た成果が出ている) 余地がある	果が出ている) 向上が期待できる。また、研修会の開催 り 薩摩蓋士に興味を持ってもようことで				
有効性	·事		<b>果への影響</b> :又は休止した か?		■ 影響: □ 影響:		宝暦治水が減少す		士の偉業を	を後世に伝える機会・手段	
評価	・目 外の	りを達成する 手段はないか	<b>沈廃合・連携(</b> ためには、この か? 廃合や連携を	)事務事業以	□他に	手段がない		(他に手	没がある場	<b>場合の事務事業名等)</b>	
	り成		明待できるか?			S合できない □ 連携 S合できる □ 連携	できる				
C 効	・成り か? ど)	果を下げずに (仕様や工法	事業費を削減の適正化、住	民の協力な		余地がない 余地がある				調査広報誌の経費が主で目であるため、削減の余地は	
率性評価	・やり を削 ・成り でき	)方を工夫して 減できないか 果を下げずに ないか?	職員以外の対	係る業務時間 対応や委託を	■ 削減余地がない		薩摩義士顕彰会の事務局としての業務を行っている。 年度に発足した組織であり、現状で事務局機能を外育 とは難しい。当面は市が事務局を担い、時期をみて事 していく。			事務局機能を外部に移すこ	
D公平性評価	・事 不公	業の内容が一 :平ではないか	<b>負担の適正</b> ・部の受益者に シュ? 、平公正になっ	に偏っていて		・公正である す必要がある	会員は広く募集しており、研修会への参加についても会員 会員の制限を設けていない。調査研究の発表も広く市民に て行っているので、受益機会は公平。 また、費用負担についても、会員から会費等を徴収し、会の 営に充てているので、公平・公正。				
***	(1)1%	(評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	省点)			
総括	B 有	的妥当性 効性 率性	<ul><li>■ 適切</li><li>□ 適切</li><li>■ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	必要がある	加が見込まれる。引	別続き会員	を増やす取組み	を行ってレ	これにより、今後、会員の増 く。 薩摩義士に興味を持っても	
	D公	平性	■ 適切	□ 見直す必	タがある	572 X 10 50					
		i向性 <pl <="" th=""><th></th><th>1.1</th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl>		1.1	<u> </u>						
(1)	<b>評価結</b> : □ 廃止		今後の方向	<b>性</b> ·当性①②、有	THE OF	· /	くは休止す	トべきとした場合	きの埋田		
	□ 休止 □ 休止 □ 事 有效 □ 公平	再設定 ・施合・連携 ・性改善(成果 ・性改善(コス・性改善	[目的妥 [目 [有 <b>【向上</b> ) [有 <b>卜削減</b> ) [効	当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	効性⑤の の結果] - - - - : : !] : !] : !]						
		mee not	, (U) X(Y)		<u></u>						
	平成22年		み概要及び類	期待される効	果	し、 <b>具体的にどのよう</b> 平成23年度に取 成22年度の状況を見	双り組むべ	き具体的な内			
をと	おして、弓	続き顕彰会の	の活動などを応	<b>玄報する。</b>							

計画以家	干炭	平成 2	一干及		争務	争 来	<u>at</u>	<u>1Щ 7</u>	<u>रर</u>	< –		<u> </u>						<b>棣式</b> 1
事務事		774		事務	文化財·	保護啓発	事業							<u>=</u>	当		教育部	
 	1			事業名									:	旦	当	課	文化振興課	4
政策:	名	4	育み	磨きあう	まちづくり									ブノ	レー	・プ	文化財グル	ープ
施策	名	4	伝統	文化の位	呆存•継承								i	電話	舌 番	号	42-1111	
基本事	業名	1	伝統	文化を	ジグ スペ									内 糹	包含	号	5201	
	会計	一角	2会計					#	ATK.		単年度	のみ						
予 算 科	款	10	教育	費				事期	<del>美</del> 謂		単年度	繰返	(開始年	度	ŀ	I 17	7 年度~)	
异 科	項	6	社会	教育費				7/11	٦,		期間限	定複	数年度(			~	)	
目	Ш	7	文化	財保護	費			根拠流		特にな	اد							
	П    -	774	311					条例	事	10 (C/3	k C							
関連計	画		•			•	•		•									
4 TELLEN	14-	// \	173 EV	<b>600</b> 6	I. HALLER	4 D - N							•					

#### 1. 現状把握 (1) 事務事業の目的と指標 < Do >

# 手 段 (事務事業の概要)

地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にする心 を育むため、「霧島を知る」をテーマとした次のような、文化財保護啓発事業を実施する。

- ①文化財に関するパンフレットの作成
- ②市報に「郷土史への扉」を掲載
- ③文化財保護強調週間の周知
- ④「文化財防火デー」に合わせて、神社による防火訓練の実施
- ⑤縄文シティサミット・全国史跡整備市町村協議大会への参加
- ⑥調査した文化財の資料整理の実施 など

#### 平成21年度実績

広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島」パンフ レット増刷。広報誌に「郷土史への扉」を掲載。 文化財保護強調週間の周知化

### 平成22年度計画

主

な

活

広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島」パンフレット増刷。広報誌に「郷土史への扉」を掲載。 文化財保護強調週間の周知化

	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	広報活動・情報発信の数		件	10	9	10	10
7	文化財防火訓練の実施		□	3	3	3	3
ゥ	パンフレット・文化財調査物の刊行	部数	₩	2,500	2,700	4,000	3,000
	<b>対 象</b> (誰、何を 対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
7							
ゥ							
	意図 (対象を どうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	文化財に関心をもってもらう。	パンフレット等を刊行した数	<b>#</b>	7,000	4,500	4,000	4,000
7							
ゥ							
	<b>結果</b> (どんな結果に 結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	伝統文化を知っている市民の割合	%	79.7	80.8	73.0	74.0
1							

#### (2)事業費 22年度 21年度 (決算) (予算) 当初予算額 1,779 1,768 予 補正予算額 算 額 予算合計 1,779 1,768

	国庫補助金	0
決算額	県支出金	0
	地方債	0
額	その他	0
	一般財源	1,783
	支出合計	1,783

## 単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

きっかけで開始されたのか? 史や文化財を地域住民の方々にまず知っても となった。これまではそれぞれの市町の文化財や歴 らい、文化財に関心を持ち、大切にする気持ち 史は学んでいたが、新しいまちのことについては知ら

この事務事業は、いつ頃、どのような

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか? 平成17年合併して霧島市となり、新しい町の歴 合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまち

始した。 この事務事業に対して誰からどんな意

を育むことを目的として「霧島を知る」事業を開

この事務事業に対する議会から出された 意見

市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や特になし 文化に対して関心が高まってきており、学ぼうと する市民も増加の傾向でパンフレットなどの資 料請求などの要望が多く寄せられている。

見や要望が寄せられているか?

ない状況である。

	多事業	774311	事務	事 務   事業名   文化財保護啓発事業						担当部教育部担当課文化振興課				
	ード		<u> </u>							担 当 課 文化振興課 平成23年度 (見込)				
		<b>兴</b>												
1	#D	単位:千円 酬	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計			
1	報給													
3														
		<u> </u>												
7	<del></del> 賃	<u></u>	1,08	1	1,081	1,082		1,082	1,082		1,082			
8	<u>具</u> 報	<u></u>	1,08		25	1,002		1,002	1,062		1,082			
9	<del></del> 旅	<sup>.</sup> 具 費	36		365	352		352	400		400			
10	交		30	5	303	302		302	100		100			
11	<u>~</u> 需	<u></u>	22	7	227	237		237	299		299			
		耗品費		•	221	201		201	62		62			
	燃	料費				10		10	10		10			
	食													
		刷製本費	22	7	227	227		227	227		227			
		熱水費												
	修													
		·												
12	役	務 費												
	通	信運搬費												
	広	告 料												
	手													
	保	険 料												
13	委	託 料												
14		料及び賃借料												
15		請負費												
16		材 料 費												
17		財産購入費												
18		購入費												
19		補助·交付金	8	5	85	97		97	97		97			
20	扶	助費												
21	貸	付 金												
22		填及び賠償金												
23		利子·割引料												
25	積	ひ出資金 立 金												
26	 寄	<u></u> 附 金												
27	公	- 課 費												
28	 繰	出 金												
	WAK.	<u></u> 計	1,78	3	1,783	1,768		1,768	1,882		1,882			
		国	,					,	,		,			
		 県												
	地	方 債												
財	辺	地債												
源	過	疎 債												
内	合	併特例債												
訳														
	そ	の他												
	— f	般 財源	1,78		1,783	1,768	_	1,768	1,882		1,882			
		計	1,78	3	1,783	1,768		1,768	1,882		1,882			
7	補助率	国												
		県 * 類												
補		基本額			1 770 -T III	<del></del>	ਜ਼ ਦੇ ੦ਾਂ ′	노휴 마/드스	コの「スのツ	h				
平		初 予 算			1,779 千円	<b>—                                     </b>	平成 21 5	年度 財源内	ボの'その他	いり引				
成		E 予 算 回 (6月)		第5回										
21	第1 第2			第6回			<b>会</b> 加弗竿	の事業実施	カための <sup>ID</sup>	λ≜ἄρΑ				
年	第3			第7回		<b>                                   </b>	<b>ジ</b> 川貝守	ツ 事未天心	J/1287074X/	くロルドガ				
度	第 4			第8回										
		<u>凹</u> 算 合 計		차이띄	1,779 千円									
	1, 4	<del>+</del>			1,110									

	務事業 ]ード	774311	事 務 事業名	文化財保	護啓発事	進     当     部     教育部       提     当     課     文化振興課					
2		ß <see></see>				評価		評価理由			
A	・こ <i>の</i> (基ス	本シートの結り	目的は基本事果)に結びつく			ついている す必要がある		文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を ない、文化財を大切にする心を持つことができる。			
目的妥当	・この	?	<b>当性</b> 市が行わなけた 、達成する目的		■ 妥当で	である す必要がある		文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解 らうことは市の役割である。			
性評価	対象	・意図の妥		•		である を見直す必要がある を見直す必要がある		象として、文化財を大切にする気持ちを育むことを意 39適切である。			
В	·成!	<b>の向上余</b> 歩 果指標の現状 せることができ	は値をあるべき	水準まで向	(十分	余地はない ↑に成果が出ている) 余地がある	(103) 文化財愛護思想を高めることで、各種イベントへの参加者が え、成果を高めることができる。				
有効性	·事			▼ 影響がある				文化財の周知や文化財を大切にする心を育まないと、年々文 化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言など が途絶えることが考えられる。			
評価	・目自		<b>沈廃合・連携(</b> ためには、この p?			手段がない 手段がある		(他に手段がある場合の事務事業名等)			
	・類( り成:	以事業との統	廃合や連携を 明待できるか?	図ることによ	□統	i合できない □ 連携 i合できる ■ 連携		各種イベント事業			
C 効	・成り か? ど)	果を下げずに (仕様や工法	事業費を削減の適正化、住	民の協力な		余地がない 余地がある	現在でも市報やホームページを活用して意識啓発を行っており、これ以上の削減余地はない。				
率性評価	・やり を削 ・成り でき	)方を工夫して 減できないか 果を下げずに ないか?	職員以外の対	系る業務時間 け応や委託を		余地がない 余地がある	意識啓発 い。	用の原稿作成等が主な業務であり、削減余地はな			
D公平性評価	・事業不公	業の内容が一 :平ではないか	<b>負担の適正</b> 部の受益者に い? :平公正になっ	に偏っていて		公正である す必要がある	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民供することができる。				
244			長)としての			(2)全体総括(振	り返り、反	省点)			
総括	B 有	的妥当性 効性  率性	<ul><li>■ 適切</li><li>□ 適切</li><li>■ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	多要がある		/ト等と連携	報がまだ不充分と思われるので、これまでの広報活動 もし、文化財を紹介するコーナーを設置するなどして情 る。			
		平性	■ 適切	□ 見直す必	要がある						
		う向性 < PL/	AN> 今後の方向	W-		/2\  <b> </b>	7.1+ <i>1</i> +1-1-1	「べきとした場合の理由			
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	[目的妥 [目的妥 [目 [有 <b>と向上</b> ) [有 <b>ト削減</b> ) [効 [公 ⇒(3)具体的	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果 りな改善計画の	効性⑤の約 )の結果] :] :] :果] :オ、要	結果]					
①他 ②自	(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか 平成22年度の取組み概要及び期待される効果  平成23年度に取り組むべき具体的な内容  ①他団体・イベント等との連携により、さらに情報を提供する。 ②自然公園ふれあい全国大会やエコーミュージアム事業など ②連携し、新たな史跡めぐりコースを設定することでより多くの										
		たな史跡めく!! こ紹介するこ		: 9 ることでより	多(() ]						

評価対	象年度	平成 21年	度	事 務 [	<b>事業</b> 評	価 表_	<一般用	>				様式1
3 . 3/3	<b>等業</b>	774318	事 務		を知る」ハンド		12017		担		教育部	
	ード 空々		争業名	322-1-5	17H 0 1	//////	- <del></del>		担		文化振興	
	策名 等夕		育み磨きあう	,,							文化財グ/	
	策名 事業名		S統文化の伝 S統文化を学							話番号 〕線番号	42-1111 5201	-
<b>空</b> 中-	争業名 会計	一般会		<u>チか</u>		T	□ 単年度	<del>-</del> のみ		緑田っ	9201	
予	款		<u>町</u> 数育費			事業			、 〔(開始年』	<b>隻</b> H 21	年度~	١
算	項		t会教育費			期間	□期間限			~	-1 /~	) )
科 目	目	· ·	工工	 費		根拠法令・				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u>'</u>
	コード	774318				条例等	文化財保護法	、霧』	島市文化知1 	呆護条例 		_
関連	計画							_				
1.現状	犬把握	(1)事務	業の目的	と指標 <	Do >							
手	段(事	務事業の概要	要)						平成	21年度実績	Į.	
史的な文 た事業を 市民へ則 ・事業実	文化財が多 を展開し、 販売予定。 施年度	多く点在して「 その一環とし 当面、平	いる。そこで、 して市内にある 平成21年度~	、新霧島市のでる文化財をテー マ平成30年度	<ul><li>試、大隅国の 合併に伴い、「∮ ーマ毎に紹介し</li><li>€とする。(事業)</li></ul>	霧島市を知る したハンドブッ 延長の可能性	」をテーマとし クを作成する。 生あり)	主な活	刊行の準備	前ができた。	58基を調査し	, 報告書
<ul><li>刊行予</li><li>パンフレ</li></ul>	定(テーマ ( ( レット作成	マ):①霧島の ⑤霧島の史 ⑧霧島の天 数 ::	の田の神 ② 跡(石造物)	霧島の神社 ⑥霧島の遺 ⑨霧島の石造 ロマ	③霧島の郷土: 跡 ⑦霧島の年 物(石橋、石倉	芸能 ④霧島 丰中行事	が城郭	适 動	①「霧島の調査	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	· 后書刊行②霧	
活動	助指標 (	事務事業の	活動量)				単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア霧島	ま市を紹介	·する資料(Ŧ	刊行する冊子	-の数)			₩		0	0	2,000	2,000
イ 調査	至した文化	財の数					件		0	158	119	84
ウ	(=								- <del>-</del>	- <del>-</del>		<u> </u>
	家 対	推、何を け象にしている	るのか)	対象指標	(③対象の) 表	大きさを 長す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア市民			八	<b></b>			人		127,450	127,662	128,640	128,868
1												I
ウ												
意	NA NA	対象を どうしたい		成果指標	(⑤意図の 達成度る	を表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア ハン 知る		で霧島市の文	北財を売れ	れたハンドブッ			人		0		50	100
1												
ウ												
	未	んな結果に 結び付ける	らのか)	上位成果排		活果の達成度 表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
	或の伝統文 とができる	て化を学び網 )。	5土を知 伝統	ーー 統文化を知っ	ている市民の害	利合 	人		79.7	80.8	73.0	74.0
1												
(2)	美費				事務事業の理							
		21年 (決算			の事務事業I きっかけで開始	は、いつ頃、 始されたのか				E取り巻〈環 比べてどう	関境は、開始 変わったの	

'				
(2	事業費		È	単位∶千円
		21年度 (決算)		22年度 (予算)
予	当初予算額	165		900
算	補正予算額	0		
額	予算合計	165		900
			_	
	国庫補助金	0		
	県支出金	0		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業は、いつ頃、 どのような きっかけで開始されたのか?	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
文化財を後世に伝えていくためには、伝統文化に対する市民の認識を高めることが重要であることから対象を市民、意図を市内の文化財を正しく知るとした。同時に市内の現存する文化財が後世に残る(記録保存)ことも目的としている。	把握していない文化財が多数明らかになってきた。
	- ~ = 20 = 24   - 1

	国庫補助金	0	<b>Ξ</b> 0.
	県支出金	0	見か
決算	地方債	0	特になり
額	その他	0	
	一般財源	125	
	支出合計	125	

	8事業	774318	事務	「霧島市を	知る」ハンドブック	ク作成事業			担当部		
	ード		争耒石						担当課	文化振興課	
		兴		成21年度			22年度 (当			23年度 (見込	-
1	報	単位:千円 酬	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
2	給										
3		手 当 等									
4		<u> </u>									
7	 賃	金									
8	報		6	55	65	205		205	410		410
9	旅								110		- 110
10	交										
11	需	用費	6	0	60	695	5	695	720		720
	消	耗 品 費	2	0	20	15	5	15	30		30
	燃	料費	2	0	20	20	)	20	30		30
	食	料 費									
	ED	刷製本費	2	0.0	20	660	)	660	660		660
	光	熱水費									
	修	繕 料									
12	役	務 費									
		信運搬費									
	広	告 料									
	手	数料									
	保	険 料									
13	委	託 料									
14		及び賃借料									
15		請負費									
16		材料費									
17		財産購入費									
18		購入費									
19		補助·交付金									
20	<u>扶</u> 貸	助費									
21		付 金 填及び賠償金									
22		現及び賠債並 利子·割引料									
24		ひ出資金									
25	積	<del>立</del> 金									
26	寄	<u>サ サ</u> か 金									
27	公	課費									
28	 繰	出 金									
		 計	12	5	125	900	)	900	1,130		1,130
		玉									
		県									
	地	方 債									
財	辺	地 債									
源	過										
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の他				250		250	480		480
	— f	段 財源	12		125	650		650	650		650
		計	12	5	125	900	)	900	1,130		1,130
*	甫助率	国									
補		県     基本額									
					10F T III		TO CT OX	年度 財源内	コの「スの州	1 Oth=0	
平		<ul><li>初 予 算</li><li>E 予 算</li></ul>			165 千円		十0人21	平反 划源内	訳の ての他	いいいい	
成	第 1			第5回							
21	第2			第6回		<b> </b>	<b>参加费</b> 望	の事業実施	のためのハワン	人並用	
年	第3			第7回			グ川貝司	ツザ木大心'	<b>-</b> フ/にマノマノリスノ	VH/0P13	
度	第 4			第8回							
		<u>四</u> 算合計		자이미	165 千円						
	J -	- H III			100     1						

	務事業 ∣ード	774318	事 務事業名	「霧島市を	を知る」八	ンドブック作成事業	担 当 部   教育部
2	平価の音	郭 <see></see>				評価	評価理由
Α	<b>政</b> 第 ・この (基)	<b>様体系との型</b> の事務事業の 本シートの結	<b>全合性</b> 目的は基本事 果)に結びつく			ついている す必要がある	ハンドブックを作成することで市民が市内の文化財を正しく知ると共に、ま存する文化財が後世に残る(記録保存)。結果として、地域の伝統文化を学び、地域を知ることができるという政策体系に結びつく。
目的妥当:	・このか	<sup>7</sup> ?	<b>当性</b> 市が行わなけ; 、達成する目的			である す必要がある	伝統文化を市民に周知し、本市の歴史・文化への理解を深めてもらうことは市の役割である。
性評価		<b>泉・意図の妥</b> 象や意図を限	<b>当性</b> 限定又は追加す	<b>上べきか?</b>		である を見直す必要がある を見直す必要がある	伝えることを思図としてわり週切である。
В	·成:	<b>への向上余り</b> 果指標の現状 せることができ	:値をあるべき	水準まで向	 □ 向上统 (十分	余地はない に成果が出ている) 余地がある	毎年ジャンルデレの文化財を調本」 その応用品をFNタくのi
有効性部	・事え	務事業を廃止な影響がある		場合にどの	■影響が		消失する文化財も少なくなく、また、伝承されてきた無形の文化 財も高齢化や核家族化に伴って失われつつあるため、早期の 着手が必要である。
評価	・目 外の ・類	的を達成する )手段はないな 似事業との統	<b>死廃合・連携</b> ( ためには、この い? 廃合や連携を 期待できるか?	事務事業以	他に∃ □ 統	F段がない F段がある 合できない □ 連携 合できる □ 連携	
C 効	・成: か? ど)	(仕様や工法	事業費を削泥 この適正化、住	民の協力な		余地がない 余地がある	職員自ら成果品の原稿作成まで行っており、これ以上のコスト削減の余地はない。
率性評価	・や! を削 ・成:	り方を工夫して 」減できないか	務時間)の間で事務事業には、1? ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	系る業務時間		余地がない 余地がある	資料としての質を高めるために専門家の方に一部執筆を依頼たり、文化財の所在地などは市民に情報提供を呼びかけたりして、職員の業務時間を削減する。
D公平性評価	・事 不少	業の内容が一 \\ \\ \\ \\ \\	<b>負担の適正</b> ・部の受益者に か? & 平公正になっ	に偏っていて		公正である す必要がある	刊行されたハンドブックは、文化財の情報を必要とする市民に有償で販売することで、受益と負担の公平性が保たれる。小冊子の価格を300円(1冊)とする根拠は、現在刊行している「霧島文化財ハンドブック」が300円で販売しているため。
			長)としての			(2)全体総括(振	長り返り、反省点)
総括	B 有 C 効	目的妥当性 可効性 力率性 公平性	■ 適切 □ 適切 □ 適切 □ 適切 ■ 適切	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	必要がある 必要がある	各地区にそれぞれ 担が偏った。	れ調査員を1名配置したが、地区によって文化財の密疎があり、負
_		方向性 < PL			-		
(1)	評価結:		今後の方向	<b>性</b> ·当性①②、有	· # # @ # %	· ,	又は休止すべきとした場合の理由
	<ul><li> 休山</li><li> 目的</li><li> 事業</li><li> ■ 有效</li><li> ■ 効率</li></ul>	生 内再設定 美統合·連携 加性改善(成集	[目的妥 [目 [有 <b>[向上</b> ) [有 <b>卜削減</b> )[効	当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果	効性⑤の約 の結果] と] と] も] も果]		
			⇒(3)具体的		=		
		な改善計画 年度の取組	み概要及び			し、具体的にどのよう	
平成神の	22年度 調査報告	は霧島の神社	上調査を行うこ	とと調査済みの ドブックの販	の田の テ	ーマによっては調査の	取り組むべき具体的な内容 Eの事務量が多いため、調査員の確保に努めることと、調査結果の のの調査計画の見直しを行う。
		材等に詳しい; うる。(調査員・	方々を調査員 の登録)	として募集し、	効率的		

評値	<b>西対象年度</b>	平成 215	F度	事	勝事 まりょうしゅうしゅうしゅうしゅう かいしゅうしょう かいしん かいかい かいかい かいしゅう アイス アイス かいしゅう かいしゅう かいしゅう アイス	だい ひょうしゅう ひょうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう しゅうしゅう しゅう	価 表	<一般用	>				様式1
Į	事務事業	75221	0 事	務「八	ンギリだし」	開催支持	爰事業			担		商工観光	部
	コード 政策名		争	業名 ろうまちづ		4	-			担が	・ 当 課	観光課	
	施策名			化の保存・総						· ·	話番号	45-5111	<u> </u>
	本事業名			体への支援							線番号	2611	
_	会計			11 274				□単年月	度のみ		жж. Ш 3		
	予 款		商工費				事業 期間			(開始年月	<b>麦</b> H 15	年度~	)
1	算項	1	商工費				知间	□ 期間降	限定複	数年度(	~		)
		4	観光費				根拠法令·						
	コード	75221	0				条例等						
	関連計画												
1.3	現状把握	(1)事務	事業の	目的と指標	< Do >					T. T. C.	4年帝宁/4	E	
	手 段 (事務	努事業の概	既要)							十八人	21年度実績	1	
筏に する	乗り、「エッナ	」と呼ばれ	るボラの 行事に対	子を投げ網て	で捕り、そのな	易でさばい	たエッナを暫	⊆切って作った は味噌などで食 レの設置及び	主主な		概要と同様		
									活動	平成2	22年度計画	I	
										前年度と同	様		
	活動指標(	事務事業の	の活動量	:)				単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	仮設トイレ数							基		2	2	(元区)	(元匹)
1	給水車数							台		1	1	1	
ウ													
		€、何を ・象にしてい	へるのか)	対象	指標	3)対象のナ 表	rきさを す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	広瀬地区の住	:民	·			•		人		6,322	6,281	6,240	6,199
1													
ウ													
	<u> </u>	象を		-1	(5	意図の				20年度	21年度	22年度	23年度
	意図(※		こいのか)	成果:	<b>眉標</b>		:表す指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	ハンギリだしを	見てもらう	)	ハンギリだ	しを見学した	と人の数		人		160	250	250	250
1													
ウ													
	<b>結果</b> (ど	んな結果 結び付け	に 'るのか)	上位	成果指標		果の達成度 そす指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア				。郷土芸能は	に関わる人数		7 11 217	人		2,644	2,515	2,450	2,450
1		"		発表を行っ	っている団体	数		件		44	45	44	44
(2)	事業費			単位∶千円	(3)事務	「業の場	境変化·住	民意見等					
			年度	22年度 (予算)			t、いつ頃、 されたのか			事務事業をは5年前と			
7	当初予算額		39	29	地域の伝	統行事で	あるハンギリ	だしに参加さ		で化なし。			
ヺ゙゚゚	補正予算額		0		れる方々の開始した。	対便性を	図るため、平	成15年から					
額	予算合計		39	29	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
	国庫補助金県支出金		0				対して誰か さられている	^らどんな意 るか?		この事務事 意見	業に対する	る議会から	出された
決			0		特になし。				特にな				
算										-			
額	その他		0										
	一般財源		39										
1	支出合計		39										

	事業 ード	752210	事務	「ハンギリガ	だし」開催支援	事業		担当部局工観光部担当課制 観光課			
	<u> </u>						22年度 /	(出加之質)		1 <u>観元課</u> 23年度 (見:	: <b>λ</b> \
		単位∶千円	単独	P成21年度 補助		単独	22年度( 補助	(当初予算)	単独	(23年度 (兄) 補助	合計
1	報		+34	IHID).	) HRI	7-52	I HB LD/	J HRI	+124	LHITAN	HRI
2	給	料									
3		手 当 等									
4	共	済 費									
7	賃	金									
8	報	償 費									
9	旅	費									
10	交	際費									
11	需	用費		11	11			12	12		12
		耗品費	]	11	11	. 1	2	12	12		12
	燃食										
		││刷製本費									
		対 水 費									
	修										
	119	m= 1°1									
12	役	務費		2	2	2	2	2	2		2
		信運搬費									
	広										
	手			2	2	2	2	2	2		2
	保										
13	委	託 料									
14		料及び賃借料	2	26	26	5 1	5	15	15		15
15		請負費									
16		材料費									
17 18		財産購入費品購入費品購入費									
19		ロ ・									
20	扶	助費									
21	貸										
22		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>									
23		全利子·割引料									
24	投資	及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出金									
		計	3	39	39	2	9	29	29		29
									<u> </u>		
	地	<u></u> 方 債							<u> </u>		
Б.1	辺辺								<del> </del>		
財源	過										
内		併特例債									
訳											
	そ	の 他									
	-	般 財源	3	39	39	2	9	29	29		29
		計	3	39	39	2	9	29	29		29
à	補助率	国									
		県									
補		基本額						<b>-</b>	<u> </u>		
平		初多算	ļ		39 千円		平成:	21 年度 財源内	訳の「その化	りの内訳	
成		正多算		<u> </u>	, ,						
21	第 1			第5回			<u> </u>	男なり事糸中を	のための間	λ≐∺□□	
年	第 2			第6回			<b>李川</b> 镇	貴等の事業実施	いにめい収入	八就明	
度	第3			第7回							
~		算合計		おる口	39 千円						
	J,	# 口 i			99 十円						

	务事業  ード	752210	事 務 事業名	「ハンギリ	だし」開催支援	事業		担当部商工観光部担当課観光課
2		了 <see></see>			評価	li .		評価理由
Α	•=0		<b>全合性</b> 目的は基本事 果) に結びつく		<ul><li>■ 結びついてに</li><li>□ 見直す必要が</li></ul>			事を支援することは、伝統文化を継承し、広げることに びついている。
目的妥当	・このか	?	<b>当性</b> 市が行わなけた 、達成する目的		■ 妥当である  □ 見直す必要7	がある	年中行	事の伝承活動への支援であり妥当である。
妥当性評価	対場	や 意図の妥		•	■ 適切である			ごしを継承していくためには、広瀬地区の住民がハンギ して体験してもらうことが重要であることから対象・意図 た。
	成男	の向上余り	tı,		□ 意図を見直す	が必要がある		
В	上さ	せることができ			□ 向上余地はた (十分に成果 ■ 向上余地がる	が出ている)	課で実施	化を保存・継承するために行っている事業であり、観光 するのではなく、教育委員会で他の伝統行事への支 せて事業を実施した方が成果の向上余地がある。
有効性	·事		<b>果への影響</b> 又は休止した かっ?		<ul><li>■ 影響がある</li><li>□ 影響がない</li></ul>		事業を原	<b>廃止した場合、衛生面に支障が出る。</b>
評価	<b>類似</b> · 目 f	以事業との統 的を達成する	<b>焼合・連携(</b> ためには、この		■ 他に手段がな			(他に手段がある場合の事務事業名等)
	・類( り成)	果の向上が期	廃合や連携を 目待できるか?	図ることによ	<ul><li>□ 他に手段がる</li><li>□ 統合でき</li><li>□ 統合でき</li></ul>	ない 🗌 連携		
C 効	·成.		を地 事業費を削減 の適正化、住		■ 削減余地が □ 削減余地が	_		事の開始合図の花火代や当日のトイレレンタル料など 事業費であり、削減の余地はない。
%率性評価	<b>人作</b> ・やりを削・成身	)方を工夫して 減できないか	<b>務時間)の削</b> (事務事業に値)? 職員以外の対	系る業務時間	■ 削減余地がた □ 削減余地がた			ンの手配、給水車手配などや使用料の支出等の事務 り削減余地はない。
D公平性評価	·事 不公	業の内容が一 、平ではないか	<b>負担の適正</b> 部の受益者に い? :平公正になっ	に偏っていて	■ 公平·公正で □ 見直す必要7		魚捕り組い。	且合が行っている伝統行事であり、受益負担はなじまな
	(1)1岁	マ評価者(課	長)としての	評価結果	(2) 🖆	È体総括(振	り返り、反	省点)
総		的妥当性	■適切	□ 見直す必				
括	C 効	が性 アンドウンス かんしょう アンドウンス かんしょう アンドウン アンティン アンドウン アンティン アンドウン アンドウン アンドウン アンドウン アンドウン アンドウン アンティン アンドウン アンティン アンティン アンティン アンティン アンティン アンドウン	□適切□適切□	■ 見直す必 □ 見直す必	が要がある るが、			統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であ :施することにより、成果の向上が見込まれる。
2 4		·平性 <b>方向性 &lt; PL/</b>	■適切	□ 見直す必	が安かめる			
_			今後の方向	性		(2)廃止5	くは休止す	rべきとした場合の理由
	<ul><li>□ 事業</li><li>■ 有効</li><li>□ 効率</li><li>□ 公平</li></ul>	-    再設定  統合·連携  性改善(成果  性改善(コス   <sup>で</sup> 性改善	[目的妥 [目 [有 <b>【向上</b> ) [有 <b>卜削減</b> ) [効	当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑤の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	k] k] f果]			
$\vdash$	<u></u> -π1/	/ル圧1・7、元代がに	フ (の) 奈仲甲	アキベ 吉川 凹し	o 1 · 女	1		
		な改善計画			項目に対し、具体	的にどのよう	に取り組む	3のか
			み概要及び う伝統行事で					き具体的な内容 場合は、引き続き保存、継承のために広瀬地区の方々
ため	に支援が		い、事業を教育					がある。   「は、引き続き体行、   「
· 教·	育委員会	さと協議する。						

評	<b>西対象年度</b>	平成 21年度	事	ろう 事	業評	価 表	<補助金	<u>· 負担金用</u>	>		様式2
	事務事業		務にも	が祭り開催	崔支援事業	¥				商工観光	部
	コード	争身	<b>美</b> 名						担 当 課グループ	観光課	
	政策名 施策名		きあうまちつ との保存継						で 話 番 号		1
事		1=1=1	本への支援	_					内線番号		
	会計		1 32232				□単年	<u></u> 度のみ	13 mar Eq. 3		
	予款	7 商工費				事業 期間	■ 単年/	度繰返 (開始 <sup>4</sup>	<b>丰度</b> 一 不	明 年度 ~	)
	算 項	1 商工費				光川山	□ 期間[	限定複数年度	( ~		)
		4 観光費				根拠法令・					
	コード	752214				条例等					
	補助金 負担金別	□ 団体の運営	<b>営支援</b>	□団体	の活動支	援   ■	イベント等の	D補助 🗆	協議会等負	担金	
1.	現状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do	>						
		務事業の概要)									
		会に補助金を交付 り実行委員会に補						算払い申請受付.	補助金交付、	実績報告受	付、補助金
精算	算)を行う。									NORTH II X	13 ( 1113-23 ===
(13-	世祭り美行会員	員会の活動)11月2	3日に務局件	宮で土穀	<b>∛豊穣</b> 併願と	ご豊年を祝いる	≦納を行り行事	として』はせ祭り	』を行り。		
		豊年を祝い、神様へ の演奏、狭名田、枦							を皮切りに、女	性団体の踊	り連、霧島
Τ-	- 仅外关末即	の演奏、仮有田、伊	田地区による	77年4用ソ、オ		「印、欧州ツ、	いようとこ踊り	が争削でする。			
ż≓	· 一个,各也么	<b>今の六付生</b> は 1	Ø N 安 公 <del>杀</del> 与	2 ^		2井口	も今の社会が	<b>7弗</b> に形然中	行系具人の江	科に亜土フタ	▽曲
<b>1</b> H		金の交付先はぜ		(云		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	力金の対象網	20年月	行委員会の活 <b>そ   21年度</b>	動に要する# 22年度	23年度
	活動指標(	事務事業の活動量	)				単位	(実績		(見込)	(見込)
ア	ほぜ祭延べ参	\$加者数					人	2,8	00 4,800	5,000	5,000
1											
ゥ											
		隹、何を †象にしているのか)	対象	指標	(③対象の)表	大きさを そす指標)	単位	20年月 (実績		22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市民	130,120 (1 00,00)	人口			7 10 ///	人	127,8	(1 1111)	, ,	128,126
			7				,,	12.,0	12.,000	121,000	
1											
	意図	対象を どうしたいのか)	成果	指標 (	(⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位	20年月 (実績		22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	地域芸能に触	虫れることができる。	参加団体数	 数			団体		21 21		21
1											
ウ											
	結果 (と	どんな結果に	上位	成果指標		果の達成度	単位	20年月		22年度	23年度
	/= 6+++A++.4h	結び付けるのか) *承し、広めてもらう。			23	表す指標)		(美額		(見込)	(見込)
<i>y</i>	伝統云 肥 を秘	大承し、仏め(もらり。	郷土芸能は	二人の	<b></b>		人	2,6	2,515	2,450	2,450
1	THE SILE THE	"	発表を行っ				団体		44 45	44	44
( 2	事業費					境変化·住			K 4- 77-10 1/4 4-7	mit	· -+ ++=
		21年度 (決算)	22年度 (予算)			は、いつ頃、 aされたのか			美を取り巻〈璟 「と比べてどう		
	当初予算額	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	523			より、五穀豊穣		特に変化なし。			
予	補正予算額		020		施している。		( - 1-7,117 G	14. 2412 3. 90			
算額			500								
	予算合計	612	523								
	日度はいる	<u> </u>					. ~ 10		- NIC	_ 114 4	.1
	国庫補助金	Z				こ対して誰か せられている		この事務 意見	事業に対す	る議会から	出された
決	県支出金			特になし		_ J 10 C 0 18	- 13 .	特になし。			
算額	地方債			13 (0,40	.0			1310.400			
額	その他										
	一般財源	612									
	支出合計	612									
1								Ī			

 事務事業<br/>コード
 752214
 事務<br/>事業名
 ほぜ祭り開催支援事業
 担当部
 商工観光部

# 運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

			4	体名	3・協	議会	名				平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定		平成23年 (予定)	
	/∓+ť	夕又 ( ) ?	実行委	등음스							補助金	612	補助金	523	補助金	445
1	18.6	ホソ	<b>₹11</b> 5	7.只云							自主財源	541	自主財源	541	自主財源	541
'	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,153	合計	1,064	合計	986
	地	区						0			自主財源率	47%	自主財源率	51%	自主財源率	55%
											補助金		補助金		補助金	
2											自主財源		自主財源		自主財源	
2	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
						•	•				補助金		補助金		補助金	
_ ا											自主財源		自主財源		自主財源	
3	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
4	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
5	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	1	1			L					L.	補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
6	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
7	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	. –									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	1	1			L					L	補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
8	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
9	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				討					_	_	補助金負担金合計	612	補助金負担金合計	523	補助金負担金合計	445
											自主財源合計	541	自主財源合計	541	自主財源合計	541
											自主財源率	47%	自主財源率	51%	自主財源率	55%

負担金交付の状況

単位:千円

									.177 • 1 1 3
	団 体 名 協議 会 名				平成23年度		負担金の3	を付先種別	
	四 件 口 伽 蛾 云 口		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	612
補正予算	
合 計	612

<補正予算内訳>				単位:千円
第1回	第 4		第7回	
第2回	第 5		第8回	
第3回	第6			

	务事業 Ⅰード	752214	│ 事 務 │ 事業名	ほぜ祭り	開催支援	事業		<u>担当 部商工観光部</u> 担当 課 観光課
2 🛊	平価の	部 < SEE >				評価		評価理由
Α	<b>政</b> ・こ (基	(策体系との この事務事業の 基本シートの結	<b>坚合性</b> )目的は基本! !果)に結びつ <sup>。</sup>		■ 結びつ			は、霧島神宮で五穀豊穣祈願と豊年を祝い奉納を行う 「であり、伝統芸能を継承し、広めてもらうことに繋がり
目的妥当	• 7.	<b>共関与の妥</b> よぜ市が補助 3 か?		ければならない	■ 妥当で	である F必要がある		地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供 の伝統文化に対する理解を深めさせる必要があるので る。
性評価		<b>象・意図の妥</b> 対象や意図をN		すべきか?		ごある - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	3 当である。	ほぜ祭を通じて伝統芸能を市民が知ることができ、妥 。 意図はほぜまつりに触れる機会ができるので妥当で
В	• 万	果の向上余	犬値をあるべき	水準まで向	■ 向上统 (十分		地域の伝	統行事であり、参加団体は固定化されているため、向はない。
有効性評	・神 し7	<b>止・休止の</b> 成 甫助金又は負打 た場合にどのよ	旦金の交付を にうな影響があ	発止又は休止 るか?	■影響が			を廃止すれば、市民が伝統文化に触れる機会が少なく 充文化を継承し、広めていくことができなくなる。
価	• ft	似事業との制度を表現である。	助金又は負担:	金はないか?	□ 他に手	<b>手段がない</b> 手段がある 合できない □ 連		(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効	・ダこと	<b>業費の削減</b> を付先に働きか とができないか	ゝけて、市の負 ・?		■ 削減分	<u>合できる □ 連</u> 余地がない 余地がある	携できる 必要最	小限の補助であり、これ以上削減の余地はない。
率性評価	٠.۶	<b>件費(延べ業</b> やり方を工夫し 削減できないた	て事務事業に	<b>削減余地</b> 係る業務時間		≷地がない ≷地がある	補助金	支出手続き事務のみであり、削減余地はない。
D公平性評価	· 神	<b>益機会・費用</b> 前助金又は負打 いて不公平では 受益者負担が4	旦金が一部の はないか?	受益者に偏っ		公正である 「必要がある		は、訪れた方が誰でも見ることができるので、公平・公。また五穀豊穣の祭りであり、受益者負担を行うことはい。
総括	A B	<b>次評価者(割</b> 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	<b>隊長)としての</b> ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切	評価結果 □ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必	必要がある 必要がある	(2)全体総括( 霧島神宮に伝: することが好まし	わる伝統行事	事であり、保存・継承を行うためには教育委員会で主管
_		方向性 < PL						
	□□□□□■■	止 的再設定 業統合・連携 効性改善(成身 率性改善(コス 平性改善 状維持・継続	[目的妥 [目的妥 [目 [有 <b>果向上</b> ) [有 <b>【ト削減</b> ) [ダ ⇒(3)具体	妥当性①②、有 妥当性①②、有 目的妥当性①③ 「効性⑤の結果 「効性④の結果 力率性⑦⑧の結果 い平性⑨の結果 的な改善計画に	効性⑥の約 の結果] <sup>1</sup> ] <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup> <sup>1</sup>	吉果]		すべきとした場合の理由
		<b>内な改善計画</b> 2年度の取組		(1) <b>のチェック</b> 期待される対		み <b>具体的にどのよ</b> 平成23年度に		<b>3のか</b> 、き具体的な内容

評	西対象年度	平成 21年度	事	多事業評価	表	<u>&lt; 補助金</u>	· <u>負担金用</u> :	<u> </u>		様式2
	事務事業 コード	752214 事	務 業名 天涯	降臨霧島祭実行委員会	:活動支	援事業			商工観光語	部
	政策名		乗位   きあうまちつ	· (1)				<u>担 ョ 課</u> グループ	観光課	
	施策名		化の保存組					ァット マック でいまり でんしょ こうない こうない かいしょ でんしょ アイ・スティ アイ・ス アイ・スティ アイ アイ・ス アイ・ス アイ・ス アイ・スティ アイ・スティ アイ・スティ アイ・スティ アイ・スティ アイ・スティ アイ アイ・スティ アイ・ス ア		]
基	基本事業名		体への支援	<u>- ·                                     </u>				内線番号	2611	
	会計	一般会計		#	= <del>714</del>	□単年月	<b></b> 度のみ		l	
	予 款 算	7 商工費	-		業間		き繰返 (開始年 	<b>度</b> H 18	年度~	)
	科	1 商工費	-			□期間	限定複数年度(	~		)
	目目コード	4 観光費752214	(		∴法令·│ 例等					
	補助金	□ 団体の追	30000000000000000000000000000000000000			イベント等の		協議会等負	———— 坦 <b>仝</b>	
	負担金別					トノントサル	ノHHDJ	加俄女子只	15 27	
1.		(1)事務事業の 8事業の概要)	)目的と指標	< Do >	_					
市(実験の影	の活動)補助金 行委員会の活 :島祭は、夏に4 霧島神楽、地域	を支出するための動)天孫降臨霧島 1日間の日程で行 の郷土芸能などの	り事務(申請書 景祭の開催 われ、霧島市 と披露し、地域	実行委員会に補助金を交付の受理、交付決定、実績報 の受理、交付決定、実績報 民会館、みやまコンセール、 の伝統芸能活性化を図ると 引係する団体の職員、市職員	告、補助 素島神宮 共に、市	金交付)を行 宮(2日間)の 外から誘客し	3会場で霧島九 し市全体の観光		演奏、霧島花	申楽振興 <i>会</i>
補	助金·負担金	この交付先 天道	系降臨霧島祭	主行委員会 主行委員会	補助:	金の対象紹	<b>子</b> 春 天孫降臨	霧島祭活動に	要する経費	
111		事務事業の活動		XII A A A	Impo	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
			<b>基</b> /				(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	祭りを見に来た	こ人の数				人	4,00	0 5,472	6,000	6,500
1										
ウ										
		、何を	、対象	<b>省標</b> (③対象の大きさ		単位	20年度		22年度	23年度
ア	市民、旅行代	象にしているのか	市の人口	衣り拍竹	票)		(実績) 128,12	(実績) 8 128,383	( <b>見込</b> ) 128,640	( <b>見込</b> ) 128,868
	11,120, 31(1) 1 (	<del>-</del>					,		,	
1	/_	· <b>4</b> · *	PRUITIM	f代理店数 (② <b>★</b> 図の		社		0 10		1(
	意図	*象を どうしたいのか	成果	<b>旨標</b> (⑤意図の 達成度を表す	指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	地域伝統芸能る。	の活性化を図れ	祭りに参加	した芸能団体の数(延べ)		団体	3	8 39	38	38
1	地域伝統芸能	に触れる機会を征	サッアー企画		店	—————————————————————————————————————	1	0 10	10	10
_	られる。		- ,			,		- 10	10	
ウ	(1)	) & <b>(</b> + <b>P</b> ) =		(@/ <b>:</b> ## a)*	÷		20年前	04年度	22年帝	00年度
	結果 (ど	んな結果に 結び付けるのか)	上位	<b>成果指標</b> (⑦結果の達 を表す指		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	伝統芸能を継	承し、広めてもら	5。 郷土芸能	- 関わる人数		人	2,64	4 2,515	2,450	2,450
1		"	発表を行	 でいる団体数		団体	4	4 45	44	44
( 2	事業費		単位:千円	(3)事務事業の環境変	化·住民	意見等				
		21年度	22年度 (予算)	この事務事業は、いきっかけで開始され				を取り巻く環と比べてどう		
		(決算)	(3)1)		神楽祭りと	:旧牧園町			Web are to	hていたー
	当初予算額	, , , , , ,	7,800	旧霧島町で行われていたで行われていた。		nを合併を	会併を継に旧雲	皀州区•牧周	†     メンジーナンコ	
予算	当初予算額補正予算額	8,006		で行われていた霧島高原 機に平成18年より天孫降	太鼓まつり 臨霧島祭	として一つ	合併を機に旧霧大祭を天孫降臨	霧島祭として	一つの祭とし	て統合し、
予算		8,006		で行われていた霧島高原	太鼓まつり 臨霧島祭 或の伝統芸	として一つ		霧島祭として	一つの祭とし	て統合し、
予算	補正予算額 予算合計	8,006 -2 8,004	7,800	で行われていた霧島高原 機に平成18年より天孫降 の祭に統合し、本市の地域	太鼓まつり 臨霧島祭 或の伝統芸	として一つ	大祭を天孫降臨	霧島祭として	一つの祭とし	て統合し、
予算	補正予算額 予算合計 国庫補助金	8,006 -2 8,004	7,800	で行われていた霧島高原、機に平成18年より天孫降門の祭に統合し、本市の地域を図ることを目的に開催さるの事務事業に対し	太鼓まついない。 本数まついない ないまい はいたい からい て誰から	として一つ 芸能の啓蒙 6 どんな意	大祭を天孫降臨 天孫降臨の地「 <b>この事務</b>	霧島祭として	一つの祭とし ご強くPRする	て統合し、ため。
予算額	補正予算額 予算合計 国庫補助金 県支出金	8,006 -2 8,004	7,800	で行われていた霧島高原:機に平成18年より天孫降!の祭に統合し、本市の地域を図ることを目的に開催されての事務事業に対し見や要望が寄せられ	太鼓まついない。 本数まついない ないまい はいたい からい て誰から	として一つ 芸能の啓蒙 6 どんな意	大祭を天孫降臨 天孫降臨の地「 <b>この事務</b> 意見	霧島祭として霧島」を内外に	一つの祭とし ご強くPRする	て統合し、ため。
	補正予算額 予算合計 国庫補助金 県支出金 地方債	8,006 -2 8,004	7,800	で行われていた霧島高原、機に平成18年より天孫降門の祭に統合し、本市の地域を図ることを目的に開催さるの事務事業に対し	太鼓まついない。 本数まついない ないまい はいたい からい て誰から	として一つ 芸能の啓蒙 6 どんな意	大祭を天孫降臨 天孫降臨の地「 <b>この事務</b>	霧島祭として霧島」を内外に	一つの祭とし ご強くPRする	て統合し、ため。
予算額 <b>  決算</b>	補正予算額 予算合計 国庫補助金 県支出金 地方債 その他	8,006 -2 8,004	7,800	で行われていた霧島高原:機に平成18年より天孫降!の祭に統合し、本市の地域を図ることを目的に開催されての事務事業に対し見や要望が寄せられ	太鼓まついない。 本数まついない ないまい はいたい からい て誰から	として一つ 芸能の啓蒙 6 どんな意	大祭を天孫降臨 天孫降臨の地「 <b>この事務</b> 意見	霧島祭として霧島」を内外に	一つの祭とし ご強くPRする	て統合し、ため。
予算額決算額	補正予算額 予算合計 国庫補助金 県支出金 地方債	8,006 -2 8,004	7,800	で行われていた霧島高原:機に平成18年より天孫降!の祭に統合し、本市の地域を図ることを目的に開催されての事務事業に対し見や要望が寄せられ	太鼓まついない。 本数まついない ないまい はいたい からい て誰から	として一つ 芸能の啓蒙 6 どんな意	大祭を天孫降臨 天孫降臨の地「 <b>この事務</b> 意見	霧島祭として霧島」を内外に	一つの祭とし ご強くPRする	て統合し、ため。

 事務事業<br/>コード
 752214
 事務<br/>事業名
 天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業
 担当部
 商工観光部<br/>担当課

# 運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		<u>4</u>	] 体名	3・協	議会	名				平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定		平成23年度 (予定)		
	天孫降	臨霧島:	祭実行	委員会						補助金	8,004	補助金	7,800	補助金	7,800	
1	7 (33.1 )					1			T	自主財源	2,495	自主財源	2,470	自主財源	2,470	
	対象		国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	10,499	合計	10,270	合計	10,270	
	地区		0			0	0			自主財源率	24%	自主財源率	24%	自主財源率	24%	
										補助金		補助金		補助金		
2										自主財源		自主財源		自主財源		
_	対象		国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
3										自主財源		自主財源		自主財源		
٦	対象		国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
4									自主財源		自主財源		自主財源			
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
_										自主財源		自主財源		自主財源		
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				•					•	補助金		補助金		補助金		
0										自主財源		自主財源		自主財源		
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
	·			•		•			•	補助金		補助金		補助金		
7										自主財源		自主財源		自主財源		
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				•					•	補助金		補助金		補助金		
١										自主財源		自主財源		自主財源		
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
		1				1				補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
			計	†					•	補助金負担金合計	8,004	補助金負担金合計	7,800	補助金負担金合計	7,800	
										自主財源合計	2,495	自主財源合計	2,470	自主財源合計	2,470	
									自主財源率	24%	自主財源率	24%	自主財源率	24%		

負担金交付の状況

単位:千円

			一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一						
	団 体 名 協議 会 名			平成22年度	平成23年度		負担金の3	を付先種別	
	四件口删嵌去口		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

1777-12	C 3 7T 5 MAG
当初予算	8,006
補正予算	(2)
合 計	8,004

<b>&lt;補正予算内訳&gt;</b>												
第1回	(1月)	-2	第4回			第7回						
第2回			第5回			第8回						
第3回			第6回									

	務事業 ]ード	752214	事 務 事業名	天孫降臨	<b>臨霧島祭実行委員会活動支援事業</b>					担当部商工観光部担当課			
2		ß <see></see>				評価				評価	理由		
A	・この (基)	本シートの結	目的は基本事果)に結びつく		_	ついてい。 す必要が			- 1 24 - 24 1 - 1		伝統行事を披露 結びついている	<b>露する事は伝統文</b> る。	
目的妥当性			<b>当性</b> は負担しなけ	ればならない	■ 妥当	である す必要が	ある		化に対する理			場を提供し、市民 役割であるので妥	
性評価		<b>泉・意図の妥</b> 象や意図を限	<b>当性</b> 記定又は追加す	ナベきか?		を見直す	必要がある 必要がある	は、祭を閉		より地域	成伝統芸能の沿	当である。 意図 6性化を図ることに	
	成男	見の向上余5	也									やすことにより、市	
В	上さ	せることができ			(十分	余地はな 分に成果が 余地があ	が出ている)	し新しい雨		頂してい		旅行代理店と連携 一参加者も望める	
有	廃」	E·休止の成	果への影響		 . ■ 影響がある							A 101H 2 2 2 4 -	
D 効性評	した	場合にどのよ	1金の交付を厚 うな影響がある	<b>るか?</b>	■影響			事業を廃止すれば、伝統芸能を披露する機会が損がで影響がある。					
価	•他(	こ同様の補助	<b>院合・連携</b> 」金又は負担を つることができた	をはないか?	□ 他に手段がない ■ 他に手段がある			(他に手段がある場合の事務事			等事業名等)		
							い 🗌 連携						
C 効	・交付	<b>貴の削減</b> な 付先に働きか ができないか	けて、市の負	担を削減する		余地がな 余地があ		入場料を徴収し祭りの運営に充てているが、補 も年々削減されている状態であるので削減の余り				補助金の予算額 余地がない。	
率	人作	費(延べ業	務時間)の間	削減余地	□ 削減赤地がある								
性評価	を削	減できないか				余地がな		補助金の交付事務については最低限の事務であるので削減の余地はないが、祭の運営等に関しては開催場所の地域住民やボランティア等を活用することにより削減の余地がある。					
D公平性評価	・補! てい	助金又は負担 て不公平では	<b>負担の適正</b> d金が一部のう はないか? x平公正になっ	受益者に偏っ		・公正であ		霧島祭では、地域の伝統芸能・歴史に触れる機会を広く市 民に提供しており、公平・公正であると思われる。					
	(1)1 <b>次</b>	(課価者)	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	しじ返り、反省点)					
総括	B 有 C 効	的妥当性 対性 空性 で性	■ 適切 □ 適切 □ 適切 □ 適切	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	必要がある 必要がある	参加団保存とできない。	]体の数を増 して移管でき いとの見解す	やしていけ きないか協 であったが、	れば成果の向 議をするも、本 今後も協議を	可上が見 事業は 行う必	見込まれる。教育 ∴伝統行事では	会場を増やしたり、 育委員会とも民芸 ないので移管は 要がある。	
3 4		方向性 <pl <="" td=""><td>AN&gt;</td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></pl>	AN>		-								
(1)	評価結	果にもとづく	今後の方向	性			(2)廃止又	ては休止す	「べきとした均	合の	理由		
	<ul><li>事業</li><li>有效</li><li>动率</li><li>公平</li></ul>	-  再設定  統合·連携  性改善(成果  を性改善(コス  で性改善	[目的妥 [目 [有 <b>【向上</b> ) [有 <b>卜削減</b> ) [効	平性⑨の結果	効性⑥の の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -								
		な改善計画		(1)のチェック									
地民のにも頼を	域の伝統 伝統文化 努めてい 引き続き	・歴史を市民 とに対する理り く。具体的に 行っていく。	み概要及び に知る機会や解を深めると同は、旅行会社 は、旅行会社 また、効率性むり、コスト削減	学ぶ場を提供 同時に観光客に にツアー商品 で善としては地	たし、市 の誘客 造成依 元住民	地域の伝 解を深める 造成依頼を	統・歴史を市 と同時に観 ・引き続き行	5民に知る村 光客の誘客 っていく。ま	にも努めていた、 た、効率性改	を提供	x的には、旅行	文化に対する理 会社にツアー商品 Pボランティアの協	

評価	<b>町対象年度</b>	平成 2	1年度	事を	多事 彰	<b>業</b> 評	価 表	<補助金	<u>· 負担金用</u>	>			様式2
1	事務事業 コード	7522	38 事	務集人	、町民芸保	:存会運営	含支援事業			担		商工観光	部
	<u>コート</u> 政策名	4		<b>石</b> あうまちづ	<n <=""> 1 &lt; 1 &lt;</n>					担 グ I		観光課 観光グル・	
	施策名	4		<u> </u>							話番号		
基	本事業名	2		· への支援							泉番号		· · ·
	会計	一般	会計				- W	□ 単年/	度のみ				
	予款	7	商工費				事業 期間	■ 単年月	度繰返 (開始年	丰度	S 39	年度~	)
	算 項	1	商工費				7431-3	□期間	限定複数年度	(	~		)
		4 7522	観光費				根拠法令・ 条例等		金等交付規則 金等の種類及び	補助	をに関す:	ろ要綱	
			ぶ。 団体の運営	 常支援				イベント等の			会等負担		
	現状把握	(1) 5	务事業の目	的と指標	< Do >								
	手 段 (事												
	町民芸保存	会の運営	費補助として	て補助金を変	交付している	<b>5</b> .							
( · ) ·	り活動) 、町民芸保存:	会に補助	金を支出す	るための手	続き(申請書	ずの受付、	交付決定、概	算払い申請受	付、補助金交付	大実績	<b>績報告受</b>	付、補助金料	清算)を行
	人町民芸保存			na v lana v		A)- (MP I		=======================================	)		)- H= )- 4	)	/ /
	御田植祭、田 〔能の保存・継						π具、鈴かけ原	<b>馬踊り、かぎ引</b>	き、琉球人踊り、	米作	り踊り、魚	とり踊り、隼。	人号)の郷
	·	- 1 - 1 1-1 273/2		. ,	PITI / //12	- 1 -11-1-1-1-1-1							
補	助金·負担st	金の交付	<b>才先</b>	J民芸保存 <sup>。</sup>	<u></u> 숮		補目	力金の対象網	<b>圣費</b> 運営費				
	活動指標(							単位	20年度		21年度	22年度	23年度
			(1)						(実績		(実績)	(見込)	(見込)
ア	補助した団体	一数						団体		1	1	1	1
1													
ゥ													
		能、何を	7 7 7 7 2 1	対象	指標 (()	3対象のプ		単位	20年度		21年度	22年度	23年度
ア	<b>集人町民芸保</b>		(いるのか)	団体数		衣	す指標)	団体	(実績	13	( <b>実績</b> ) 13	( <b>見込</b> )	( <b>見込</b> )
	年八町 八云 n	N/FZ		凹件剱				四件		10	10	13	13
1													
	意図(対	対象を どうし	たいのか)	成果	省標 (⑤	)意図の 達成度を	と表す指標)	単位	20年度		21年度 (実績)	22年度 (見込)	(見込)
	郷土芸能の保		-						(1 1111	13	13	13	13
	組んでもらう。			芸能等の数	文								
1													
ウ													
	結果 (원	がな結り	果に けるのか)	上位	<b>成果指標</b>		果の達成度 長す指標)	単位	20年度		21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア				郷土芸能	こ関わる人数			人	2,6		2,515	2,450	2,450
1		"		発表を行っ	ている団体			団体		44	45	44	44
-	事業費		単				境変化·住			11	10		11
(-,	3-2/13-2	2.		22年度			は、いつ頃、		事務事業	単春 肛	双1)巻く環	境は、開始	台時期又
				(予算)			されたのか					変わったの	
予	当初予算額	Ą	3,770	3,393			固有の伝統に		後継者不足、	活動	資金不足:	が深刻である	5.
算	補正予算額	Ą			して、末永	く保存して	伝えていくた	めに、隼人町					
額	予算合計		3,770	3,393	民芸保存会	会が発足し	<i>、</i> ている。						
	国庫補助金	Ž						らどんな意		事業	*に対する	る議会から	出された
	是出去黑						せられている		意見				
決算	地方債						推しい中で,補 芸保存会の有	前助金が年々 戸続が困難に	特になし				
額	その他				なる一方で	,							
	一般財源		3,770										
	支出合計		3,770										

 事務事業<br/>コード
 752238
 事務<br/>事業名
 隼人町民芸保存会運営支援事業
 担当部
 商工観光部

 担当課
 観光課

# 運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		寸	体名	3・協	議会	名		2	会員数	平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定 <sub>)</sub>		平成23年度	
	隼人町[	マ芸保?	存会						13 人	補助金	3,770	補助金	3,393	補助金	3,393
1	——————————————————————————————————————			1					10 / (	自主財源	247	自主財源	211	自主財源	211
· I	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	4,017	合計	3,604	合計	3,604
	地区							0		自主財源率	6%	自主財源率	6%	自主財源率	6%
										補助金		補助金		補助金	
2										自主財源		自主財源		自主財源	
_	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
3										自主財源		自主財源		自主財源	
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
,							自主財源		自主財源		自主財源				
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			•			•			•	補助金		補助金		補助金	
_							自主財源		自主財源		自主財源				
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		II	I.	1	1	I.			1	補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	計						13 人	補助金負担金合計	3,770	補助金負担金合計	3,393	補助金負担金合計	3,393		
										自主財源合計	247	自主財源合計	211	自主財源合計	211
									自主財源率	6%	自主財源率	6%	自主財源率	6%	

負担金の状況

単位:千円

	ロニエックルル							+	- 177 · I I J
					平成23年度		負担金(	の支払先	
	四个口吻嵌去口		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							_

当初予算	3,770
補正予算	
合 計	3,770

<補正予算内訳>			単位:千円
第1回	第4回	第7回	
第2回	第5回	第8回	
第3回	第6回		

	务事業 Iード	752238	事 務 事業名	隼人町民	芸保存会	運営支援事業	担当部商工観光部担当課程 報報				
2 #	平価の部	S <see></see>				評価		評価理由			
А	・この (基本	<b>ドシートの</b> 結り	目的は基本事果) に結びつく		■ 結びつ □ 見直す	Dいている 「必要がある		「民芸保存会への支援であり、伝統文化を継承し、広 ことに結びついている。			
目的妥当			<b>当性</b> は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で □ 見直す	∵ある 「必要がある	郷土芸る。	能や年中行事の伝承活動への支援であり、妥当では			
性評価		・意図の妥 象や意図を限	<b>当性</b> 定又は追加す	ナベきか?		である - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	る。意図は図ることは	伝統文化を継承し、広めてもらう団体であり妥当であ は隼人町民芸保存会の円滑な運営と財政の健全化 により伝統文化を継承し、広めてもらうことに繋がるの らる。			
В	•成 <b>身</b>	<b>の向上余</b> 歩 果指標の現状 せることができ	値をあるべき	水準まで向	<b>■</b> 向上统 (十分	⇒地はない に成果が出ている	<b>作人町</b>	「民芸保存会に対しする運営補助であり、向上の余地			
有効性!	•補 <b></b>	<b>か金又は負担</b>	<b>果への影響</b> 1金の交付を序 うな影響がある	産止又は休止	■ 影響か		自主財源する恐れ	原のみでは保存・継承ができなくなり、伝統文化が消 ルがある。			
評価	•他に	こ同様の補助	<b>廃合・連携</b> ( )金又は負担金 つることができた	をはないか?	■ 他に手	合できない 🗌 連		(他に手段がある場合の事務事業名等) 他の民俗芸能伝承団体に対する運営補助 他の民俗芸能団体に対する運営補助は文化振り 課の事務であり、協議が必要である。			
C 効	・交斥 ことか	ぶできないか	けて、市の負i ?		■ 削減余	<u>合できる □ 連</u> <さいない <さいがある	携できる は、				
率 性評価	・やり	·		<b>削減余地</b> 係る業務時間		≷地がない ≷地がある	補助金交付事務のみであり、削減余地はない。				
D公平性評価	・補り てい	助金又は負担 て不公平でに	<b>負担の適正</b> !金が一部のう はないか? :平公正になっ	受益者に偏っ		公正である 「必要がある	触れる機	伝統文化を継承し、広めてもらうことにより、市民が伝統文化に触れる機会を持て、より郷土の歴史を知り、伝統文化を大切にする心を育むことに繋がるので、公平・公正である。			
	(1)1次	(評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(	辰り返り、反	反省点)			
総括	A目 B有 C効 D公	率性	<ul><li>■ 適切</li><li>■ 適切</li><li>■ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	必要がある 必要がある	他の類似事業とめる必要がある。	窓口を一本化	化することにより、伝承活動に対する支援を一体的に			
3 4	今後の方	j向性 <pl <="" th=""><th>AN &gt;</th><th></th><th>-</th><th></th><th></th><th></th></pl>	AN >		-						
(1)	評価結果	果にもとづく	今後の方向	性		(2)廃止	又は休止で	すべきとした場合の理由			
	<ul><li>□ 有効</li><li>□ 効率</li><li>□ 公平</li></ul>	再設定 統合・連携 性改善(成果 性改善(コス 性改善	[目的妥 [目 [有 <b>[向上</b> ) [有 <b>-  削減</b> ) [効 [公	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑤の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	効性⑥の約 の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -						
(3),	具体的な	は改善計画		(1)のチェック	項目に対し	<b>人具体的にどのよ</b>	うに取り組む	むのか			
·市内	平成22年	<b>丰度の取組</b> 芸能団体を包	<b>み概要及び</b> 2括的に支援 <sup>2</sup>	期待される効	果		取り組むへ	べき具体的な内容			
<b>公</b> 樣	<b>什</b> 云放 <sup>业</sup>	区の検討する。									

評価	i対象 <sup>:</sup>	年度 平	成 21年度	Ę	事	<b>务事</b>	<b>集</b> 評	価 表	<補助金	·負担	金用 >			様式2
哥	<b>事務事</b>		774319		務 郷士	芸能保存	団体運営	営支援事業			担		教育部	
	그 — ト		-	事業	ă i			1212171			担		文化振興記	
	政策名				あうまちづ - /2:カ á						·		文化財グル	
	施策名		- 1- 11	) = > <b>-</b>   -	の保存・糸							話番号	42-1111	-
基	本事業				への支援						内	線番号	5201	
,	-	会計	一般会計					事業		度のみ		_		
	予算	款		育費	-#1			期間			(開始年度	S 50	年度~)	)
Ŧ	4	項		会教育					□ 期間 霧島市補助。			~		)
E	<b>∄</b>	ヨード	7 文4 774319	化財保	<b>護</b> 費			根拠法令 统 条例等	霧島市補助霧島市補助	金等交付	規則	h家に関する	ス亜細	
	補助金		■団体の	の運営	支援	□団体の	)活動支持	援 🗆	イベント等(			議会等負担		
	見状把		1)事務事	業の目	的と指標	< Do >								
	手 段	(事務	事業の概要	<b>:</b> )										
主な② 郷介 土郷	業務の 生芸 芸芸 芸芸 芸芸 ま芸 ま芸 ま芸 ま芸 ま ま芸 ま ま ま ま ま	内容 保存活 等への出 存団体(	動事業費補 演依頼 の活動	助金(週	重営補助)	めに、郷土	芸能保存[	団体に対して	活動補助をす	·る。 また、	、出演の機	会の提供を	行う。	
補	助金·	負担金(	の交付先	郷土芸	能保存会			補且	力金の対象約	<b>圣費</b> 郷	土芸能を糾	*承するため	の運営補助	b
;	活動推	<b>標</b> (事	務事業の活	動量)					単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
アji	軍営補	助してい	る郷土芸能	保存会	の数				団体		16	16	16	16
1	イベント	等へのと	出演を行った	を団体の	数				団体		44	45	45	46
ウ														
3	対象		何を とにしている	のか)	対象	指標(()	③対象のナ 表	大きさを す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	保存団	体			霧島市内の	の郷土芸能	保存団体	数	団体		44	44	45	46
1 ī	市民				霧島市の。	人口			人		127,450	127,662	128,640	128,868
j	意区	(対象	身を どうしたい	のか)	成果:	指標(⑤	)意図の 達成度を	を表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	郡土芸	能が保存	₹・継承され	る	団体の会員	員数が増えた	に団体数		団体		2	3	2	2
<b>イ</b> 化	伝統文	化にふれ	いる機会を持	手つ	団体の発表	表の数			日		32	35	36	37
ウ														
1	結果		な結果に きび付けるの	つか)	上位	成果指標		果の達成度 長す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	云統文		し、広めて		発表を行っ	っている団体		. , , , , , , ,	団体		44	45	44	44
1														
(2)	事業責			単 <sup>·</sup>	位:千円	(3)事務	其業の場	境変化·住	民意見等					
			21年度	差 2	2年度 予算)	この事	務事業は	は、いつ頃、 aされたのか	どのような	は	は5年前とは	とべてどう	境は、開始 変わったの	か?
予	当初音	予算額	5-	49	3,424				を後世に残す				上会変化によ	
算	補正 <sup>-</sup>	予算額		<u> </u>	$\overline{}$	ため。また、 た。	、仮桃有を	と育成するため	りに始められ		が溥れ、地 下している。	ツい伝統又	化などを継え	まり る住会
安百	予算台		5.	49	3,424		しては、ほ	召和50年代カ	ら実施して	保存会: を継承で	会員の高齢	なくなってレ゙	とで、郷土芸 る。(平成18	
	国庫社	前助金						対して誰か	いらどんか音	-	の重発重	業にがする	る議会から	出さわた

# 地方債 その他 一般財源 549 支出合計 549

県支出金

# この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

地域による伝統文化の継承活動に要する経費 特になし (補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。 市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露し てもらいたいとの要望が寄せられている。

この事務事業に対する議会から出された 意見

 事務事業<br/>コード
 774319
 事 務<br/>事業名
 郷土芸能保存団体運営支援事業
 担 当 部 教育部<br/>担 当 課 文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

, <del>1</del>	官支援・沽動支援・イベントの補助等の状況		平成21年	度	平成22年	度	甲位:十円 平成23年度		
	団体名 協議会名	会員数	(決算)		(予定		(予定		
		18 人	補助金	40	補助金	40	補助金	40	
1	ト升旦化開り休任云	10 人	自主財源	40	自主財源	47	自主財源	47	
'	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	基人 福山	合計	80	合計	87	合計	87	
	地区		自主財源率	50%	自主財源率	54%	自主財源率	54%	
	清水田の神舞保存会	13 人	補助金	36	補助金	36	補助金	36	
2	HANDO ITO A INCIDENTIAL AND A	10 /	自主財源	111	自主財源	51	自主財源	55	
_	713	4 福山	合計	147	合計	87	合計	91	
	地区		自主財源率	76%	自主財源率	59%	自主財源率	60%	
	敷根琉球人踊り保存会	31 人	補助金	36	補助金	36	補助金	36	
3			自主財源	54	自主財源	40	自主財源	55	
	7/1 SK	【人 福山	合計	90	合計	76	合計	91	
	地区		自主財源率	60%	自主財源率	53%	自主財源率	60%	
	重久神舞保存会	18 人	補助金 自主財源	37	補助金 自主財源	37	補助金 自主財源	37	
4	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	【人 福山	日土 的 你 合計	95 132	日 土	106 143	日 土	106 143	
	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼地区	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	自主財源率	72%	自主財源率	74%	自主財源率	74%	
	O O		補助金	63	補助金	63	補助金	63	
	重久太鼓踊り保存会	25 人	自主財源	70	自主財源	67	自主財源	67	
5	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	【人 福山	合計	133	合計	130	合計	130	
	地区		自主財源率	53%	自主財源率	52%	自主財源率	52%	
			補助金	45	補助金	45	補助金	45	
	広瀬道化踊り保存会	18 人	自主財源	63	自主財源	50	自主財源	95	
6	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	人 福山	合計	108	合計	95	合計	140	
	地区		自主財源率	58%	自主財源率	53%	自主財源率	68%	
	在中土村区1/1/左人	40. [	補助金	63	補助金	63	補助金	63	
_	府中太鼓踊り保存会	43 人	自主財源	94	自主財源	98	自主財源	98	
7	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	人 福山	合計	157	合計	161	合計	161	
	地区		自主財源率	60%	自主財源率	61%	自主財源率	61%	
	小脇郷土芸能保存会	8 人	補助金	33	補助金	33	補助金	33	
8			自主財源	18	自主財源	18	自主財源	18	
	7136	人 福山	合計	51	合計	51	合計	51	
	地区		自主財源率	35%	自主財源率	35%	自主財源率	35%	
	三体棒踊り保存会	23 人	補助金	45	補助金	45	補助金	45	
9			目主財源	241	自主財源	231	自主財源	231	
	八条	【人 福山	合計	286	合計	276	合計	276	
	地区		自主財源率	84%	自主財源率	84%	自主財源率	84%	
	万膳太鼓踊り保存会	24 人	補助金 自主財源	45 20	補助金 自主財源	45 15	補助金 自主財源	45 15	
10	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	基人 福山	合計	65	合計	60	合計	60	
	対象 全巾 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼地区	八曲田	自主財源率	31%	自主財源率	25%	自主財源率	25%	
			補助金	0170	補助金	28	補助金	28	
	田口棒踊り保存会	16 人	自主財源		自主財源	43	自主財源	43	
11	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	人 福山	合計		合計	71	合計	71	
	地区		自主財源率		自主財源率	61%	自主財源率	61%	
		0.1	補助金	26	補助金	26	補助金	26	
40	田口田の神舞保存会	6 人	自主財源	1	自主財源	1	自主財源	1	
12	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼	人 福山	合計	27	合計	27	合計	27	
	地区		自主財源率	4%	自主財源率	4%	自主財源率	4%	
	霧島俵踊り保存会	20 人	補助金	31	補助金	31	補助金	31	
13		20 人	自主財源	37	自主財源	45	自主財源	45	
13	/13/	基人 福山	合計	68	合計	76	合計	76	
	地区		自主財源率	54%	自主財源率	59%	自主財源率	59%	
	<b>护田棒踊り保存会</b>	12 人	補助金		補助金	18	補助金	18	
14			自主財源		自主財源	55	自主財源	55	
	N/S	4 福山	合計		合計	73	合計	73	
	地区		自主財源率		自主財源率	75%	自主財源率	75%	

	- 11		70又11/0	<b>コ</b> たム						10 1	補助金	24	補助金	24	補助金	24
45	<i>)</i> 1	路原刀	J岬リヤ	K1子云						18 人	自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26
15		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	50	合計	50	合計	50
		地区								0	自主財源率	52%	自主財源率	52%	自主財源率	52%
	立口	f原鎌踊	3.11./□ <del>/</del>	- A						37 人	補助金	25	補助金	25	補助金	25
16	办	11尔 球 坪	8リ1木1-	f云						31 人	自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26
10		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	51	合計	51	合計	51
		地区								0	自主財源率	51%	自主財源率	51%	自主財源率	51%
						補助金		補助金		補助金						
17	_							自主財源		自主財源		自主財源				
17		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
18	-										自主財源		自主財源		自主財源	
10		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	国人 福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
19	г										自主財源		自主財源		自主財源	
15		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
20	г										自主財源		自主財源		自主財源	
			全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				討						221 人	補助金負担金合計	549	補助金負担金合計	595	補助金負担金合計	595
_											自主財源合計	896	自主財源合計	919	自主財源合計	983
											自主財源率	62%	自主財源率	61%	自主財源率	62%
負	担:	金の状	況								正式の左序  正	-D <b>-</b> -	[ <del>-                                   </del>		単·	<u>位:千円</u>

	()=10 <2.0(10)								<u> </u>
	団 体 名 協議会名			平成22年度			負担金0		
			(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

平成21年度予算の状況

当初予算 549 補正予算 合 計 549

<補正予算	草内訳 >				単位:千円
第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

	務事業 ]ード	774319	事 務 事業名	郷土芸能	保存団体	支営重本	援事業	担当部教育部担当課文化振興課				
2	評価の語	那 <see></see>				評価				評価理	<u>——</u> E由	
Α	<b>政党</b> ・この (基	<b>様体系との</b> の事務事業の 本シートの結:	<b>全合性</b> 目的は基本事 果)に結びつく			ついている す必要が	_	存会が運	営や後継者育	成に積極	的になること	で、郷土芸能保 により、市民に対 ら意識の高揚が
目的妥当	・なのか	7.5	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当	である す必要が	ある	文化財の保護と活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と 規定されており、郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が 行わなければならない事務事業である。				
性評価		<b>泉・意図の妥</b> 象や意図を限	<b>当性</b> と定又は追加す	<sup>ト</sup> べきか?		を見直す	必要がある 必要がある	当である。				
В	・成 上さ	せることがで	さ値をあるべき きるか?		□ 向上余地はない (十分に成果が出ている) ■ 向上余地がある			高齢化に伴う後継者不足が切実な問題となっているが、会員数が増える団体が出てくれば、本事業の成果は向上すると思わるので、さらに、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行っていきたい。				
有効性な	·補	助金又は負担	果への影響 全の交付を厚 うな影響がある	<b>産止又は休止</b>		■ 影響がある □ 影響がない		無形民俗文化財(郷土芸能、年れを再び復活するには非常に難業を継続する必要がある。				
評価			、廃合・連携・		□他に	手段がなり	l I		(他に手	三段がある	る場合の事務	事業名等)
т,ш	•統	廃合や連携す	7金又は負担会 つることができた		■ 他に	手段があ	る い □ 連携	できる	<b>隼人町民芸</b> (			
C 効	・交こと	ができないか	けて、市の負 ?			余地がな 余地があ		存会のみ	の保存継承でに のため、保存会	はなく地域	或全体が取り	たものであり、保 組む体制が必要 なすることは厳し
率	人f	牛費(延べ業	務時間)の間	削減余地	<b>■</b> ¥10 <del>4</del>	<b>↑ 11 1</b> 1 1 1 1						並びに出演の機
性評価	を削	減できないか				川減余地がない 会の提供を実施しており、 以上の出演の機会を増や 務はこれまで以上に増える					がある。その7	
D公平性評価	・補 てV	助金又は負担 で不公平では	<b>負担の適正</b> 日金が一部の受 はないか? 公平公正になっ	受益者に偏っ		・公正であ す必要が		の地域の	風土を色濃く残	ますもので	である。これら	け郷土芸能はそ のことを考慮する 得ないことであ
	(1)12	欠評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	(省点)			
総括	B 有 C 交	1的妥当性 5効性 力率性 公平性	■ 適切 □ 適切 ■ 適切 ■ 適切	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	が要がある が要がある	高齢 必要が が増加 必要が	ぶある。発表の こしているの	の機会につ	いては、地域の	)行事等	で出演の機会	xで保存を考える が若干ではある かいて支援を行う
3 <		方向性 < PL	AN >	•	-	•						
			今後の方向	性			(2)廃止又	ては休止す	べきとした場	合の理	曲	
	■ 事第 ■ 有交 □ 効率	と 対再設定 美統合・連携 が性改善(成界 駆性改善(コス で性改善	[目的妥 [日 [有 <b>[向上</b> ] [有 <b> -  -  -  </b> -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -	率性⑦⑧の結 平性⑨の結果	効性⑥の 効性⑥の ()の結果] (- [] [] [] []							
		な改善計画		(1)のチェック		し、 具体的	内にどのよう	に取り組む	かのか			
各地 1回 隼人	区1団 郷土芸 、町民芸	体による郷 能祭を開催	み概要及び 大芸能を発え し、出場機会 会支援事業と	€する場として を増加する。	て,第①				<b>き具体的な</b> P 全体の郷土芸育		体の結成	
1												

評価対象	年度	平成 2	1年度	事務事	<u>業</u> 評	価 表	<補助金·負担金用	>	様式2
事務事	業	7742	事務	霧島神楽振興	10年1	5		担 当 部	教育部
<u> П</u>	۴	1172	事業名	粉面下未派	女性ロン	人]及于未		担 当 課	教育振興課
政策:	名	4	育み磨きあう	まちづくり				グループ	教育グループ
施策	名	4	伝統文化の位	呆存·継承				電話番号	57-1111
基本事	業名	2	保存団体への	の支援				内線番号	5840
	会計	一般	<b>法</b> 会計			= **	□ 単年度のみ		
予	款	10	教育費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 <sup>2</sup>	<b>羊度</b> H 8	年度~)
予 算 科	項	6	社会教育費			케미	□ 期間限定複数年度	( ~	)
目	目	6	文化振興費			根拠法令·	霧島市補助金等交付規則		
	コード	7742	225			条例等	霧島市補助金等の種類及び	補助率に関す	る要綱
補助: 負担金			団体の運営支	援 □団体の	の活動支	援   □	イベント等の補助 □	協議会等負	担金
1.現状把	円握	(1)	務事業の目的	と指標 <do></do>	•				

#### 手段(事務事業の概要)

霧島地区に伝わってきた「霧島神楽」を約80年ぶり復活した。この貴重な郷土芸能を後世に伝える為、振興会の運営を支援するため助 成するものである。

- <振興会の活動内容>
- ・伝統芸能伝承のための定期練習会の開催
- ・天孫降臨霧島祭への参加(例年)、公民館講座の指導、きりしまチャレンジャーでの神楽指導、など <事務事業>
- ・補助金交付に係る諸手続き

祁		申楽振興会	補助	か金の対象経費	霧島神楽振	興会の運営	質営に要する経費		
	活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	霧島神楽振興会公演回数			口	25	24	25	2	
1	講習の延回数			田	28	28	25	25	
ウ									
	<b>対象</b> (誰、何を 対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを 表す指標		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	市民	市民		人	127,450	127,662	128,640	128,868	
1	神楽振興会会員	神楽振興会会員数		人	42	38	40	4	
	意 図 <sup>(対象を</sup> どうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の 達成度を表す指	<b></b> (標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	霧島神楽を知ってもらう	南九州神楽祭り参加者数		人	4,400	7,290	4,500	4,600	
1	霧島神楽を伝承する	伝承のための講習会への参加人数		人	225	329	340	350	
ウ									
	<b>結果</b> (どんな結果に 結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達用を表す指標	,	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう	団体登録者数		団体	2,644	2,515	2,515	2,51	
1									

(2	) 事業賃			単位:十円
		21年度 (決算)		22年度 (予算)
予	当初予算額	44	7	429
算	補正予算額			
額	予算合計	44	7	429

	国庫補助金	
	県支出金	
決算額	地方債	
解額	その他	
	一般財源	429
	支出合計	429

この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

旧霧島町内の民家で270年前の古文書 が発見され、その中に霧島神楽が現存し ていた記述があった。そこで町民の関心を 高めようと波野村の「中江岩戸神楽」と古

文書を参考に復活させた。

この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

地域住民から霧島神楽を大切に守り伝え 特になし ていくべきだという意見が寄せられてい る。

### 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか?

発足当時は数十名いた会員も高齢化や職場の異動 (役場職員もかなり居た)により、少しずつ遠退いてゆ き、今では40名ほどで活動している。しかし、近年、 新規会員の加入もあり、やや活気付いてきている。

> この事務事業に対する議会から出された 意見

 事務事業<br/>コード
 774225
 事務<br/>事業名
 事場<br/>霧島神楽振興会運営支援事業
 担当部<br/>担当部
 教育部<br/>担当課<br/>教育振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

			4	体名	3・協	議会	名		ź	会員数	平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定)		平成23年度 (予定)	
	雲自	油油	· 振興:	Δ.						38 人	補助金	477	補助金	429	補助金	429
1	粉缸	ነኘሞታ		<b>5</b>						36 八	自主財源	957	自主財源	360	自主財源	360
'	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,434	合計	789	合計	789
	地	1区						0			自主財源率	67%	自主財源率	46%	自主財源率	46%
											補助金		補助金		補助金	
2											自主財源		自主財源		自主財源	
2		象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	1区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
3											自主財源		自主財源		自主財源	
J		象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
4											自主財源		自主財源		自主財源	
4	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
5											自主財源		自主財源		自主財源	
o o	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	1区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
c											自主財源		自主財源		自主財源	
6	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
7											自主財源		自主財源		自主財源	
7	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
0											自主財源		自主財源		自主財源	
8	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	[区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		'									補助金		補助金		補助金	
0											自主財源		自主財源		自主財源	
9	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	址	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
10											自主財源		自主財源		自主財源	
10	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	2区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				計	}					38 人	補助金負担金合計	477	補助金負担金合計	429	補助金負担金合計	429
					-						自主財源合計	957	自主財源合計	360	自主財源合計	360
											自主財源率	67%	自主財源率	46%	自主財源率	46%

負担金の状況

単位:千円

	団 体名·協議会名				平成23年度			D支払先	
	四 体 石 · 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	447
補正予算	
合 計	447

	<補正予	算内訳 >					単	位:千円
I	第1回		第4回		第7回	回		
I	第2回		第5回		第8回	<b>1</b>		
I	第3回		第6回					

	務事業 コード	774225	事 務事業名	霧島神楽	楽振興会運営支援事業 担当割教育部担当課教育振興会運営支援事業 担当課教育振興									₹	
2		那 <see></see>				評価					評	価理	曲		
A	・この (基	本シートの結	目的は基本 果) に結びつ			ついている す必要があ	<b>ప</b>		育成に積	責極的に	こなること	とによ	り、市民に	対しても	保存会が運営 披露する機会が
目的妥当				ければならない	■ 妥当 <sup>-</sup>	である す必要があ	<b>ర</b>		土芸能(	無形民					賃務と規定され かなければならな
性評価		<b>泉・意図の妥</b> 象や意図を限	<b>当性</b> R定又は追加 <sup>-</sup>	すべきか?		である を見直す必 を見直す必			民への						営と後継者の や・意図とも妥
	成身	<b>見の向上余</b> り	也				2.0 02 0								
В	上さ	せることがで			(十分	余地はない ↑に成果が出 余地がある	さている)		会が出	演す	る機会	の提	供を図る	ことで、	ご、これまで以 振興会の活性
有効性	·補	助金又は負担	<b>果への影響</b> 3金の交付を うな影響があ	発止又は休止	■ 影響: □ 影響:			れを再び	形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、こ を再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事 を継続する必要がある。						
評価			た 廃合・連携		■他に	<u></u> 手段がない		(他に手段がある場合の事務事業名等					英名等)		
			カ金又は負担を トることができ		□他に	携できない 集できる									
	事	美貴の削減3	余地				生能は	<b>こ</b> わご	h n#h	おひたま	見付いたも	のであり	保存会のみの		
C 効		付先に働きか ができないか		担を削減する		余地がない 余地がある		ではなく	地域全	体が取り	り組む	体制が必	要である	、そのため、保	
率性	人作	牛費(延べ業	務時間)の	<b>削減余地</b>	■ 出心武之	<b>△+4-4/+/1 /</b>									機会の提供
評価	を削	減できないか	7.5	係る業務時間		余地がない		を実施しており、保存会の活性化を図るには、今までは 演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務で以上に増える可能性がある。 本来、郷土芸能は国民共有の財産であり、その地域の 色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、振興 行政が支援することはやむを得ないことである。							
D公平性評価	・補 てV	助金又は負担 で不公平では	<b>負担の適正</b>   金が一部の     はないか?     、平公正になっ	受益者に偏っ		公正である す必要があ									
	(1)1%	文評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体	総括(振	り返り、反	省点	)					
総括	B有	1的妥当性 i効性 j率性	<ul><li>■ 適切</li><li>□ 適切</li><li>■ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	が要がある		活性化を								いる。今後は 取り組むことも
	D 2	\平性	■ 適切	□ 見直す必	が要がある										
_		方向性 < PL 思にまとうが	AN > 今後の方向	i <del>ld</del>	-	17.	) ) <b>咳</b> i ト て	くは休止す	ナベキ	<b>レ</b> Ⅰ.炸	·担合/	の理	ф		
(1)	一 廃山			<b>[]王</b> 6当性①②、有	効性(5)の		4 ) 既止》	(IAWTT)	9112	CUIL	場口り	ル珪	Щ		
				· 当性①②、有											
	_	再設定	= -	的妥当性①②											
		€統合·連携 カ性改善(成集	=	「効性⑥の結果 「効性④の結果	=										
				郊性①の相が    率性⑦⑧の絹											
		性改善	=	、平性⑨の結果	_										
	□ 塊状	(維持・継続	⇒(3)具体	的な改善計画	は小安										
(3)	具体的	な改善計画		(1)のチェック	項目に対	し、具体的に	こどのよう	に取り組を	ごのか						
•各和	重イベン	ト等への出演・	や神楽講座の	<b>期待される</b> 対 )実施。 り活性化を図る	• C 図			<b>双り組むべ</b> イベント等」					できるよう	に、関係	者との連携を
- ** ** **	<b>以</b> 川下木で	HAIM Y WCCT	∪で、冰央云り	서마(파)다연[전상	20										

評価対象	年度	平成 21年度 事務事業						価 表	<補助金·負担金用	>			梎	美式 2
事務事コー		774	310	事 務 事業名	文化財	整備事業				担担	当当		教育部 文化振興課	
政策:	名	4	育み	*磨きあう	まちづくり							- プ		プ
施策	日	4	伝統	定文化の位	呆存·継承					電	話	番 号	42-1111	
基本事	業名	3	文化	(財の保証	字·整備					内	線	番 号	5201	
	会計	一角	2会計					= 114	□ 単年度のみ					
予	款	10	教育	責				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始:	丰度	Ē	S 62	2 年度~)	
予 算 科	項	6	社会	教育費				께미	□ 期間限定複数年度	(		~	)	
目	目	7	文化	財保護	費			根拠法令	霧島市文化財保護条例					
	コード	774	310					条例等	務局川又化州休護宋州					
補助:							動支	援   [		協	議会	等負:	担金	
1.現状把	児握	(1)	務事業	の目的の	と指標	< Do >								

### 手段(事務事業の概要)

市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置す る事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。

※環境整備とは、文化財整備を終えた文化財の維持管理のことをいう。

(市の活動)文化財の養生や周辺の環境整備及び霧島神宮・鹿児島神宮への補助金支出事務

(霧島神宮の活動)国指定建造物の社殿改修、事業実施期間平成21年度~27年度、平成23年度工事予定期間平成22年4月~平成23年3月, (鹿児島神宮の活動)県指定建造物の本殿壁画修復、事業実施期間平成21年度~25年度、平成23年度工事予定期間平成22年6月~平成23年9月

補	制助金・負担金の交付先霧島神	申宮•鹿児島神宮	補助	か金の対象経費	霧島神宮は	経費の1/6,	鹿児島神宮	Tは1/3
	活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	整備した文化財の数			件	4	4	4	4
1	設置した文化財説明板・標柱の数			力所	20	12	15	15
ゥ	環境整備を実施する文化財の数			件	46	46	46	46
	対象 (誰、何を 対象にしているのか)	<b>対象指標</b> (3対象の大きさを 表す指標		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市内の文化財	市内文化財の数		力所	667	684	690	710
1								
	意 図 <sup>(対象を</sup> どうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の 達成度を表す丼	旨標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア		環境整備を実施した文化財の数		件	4	4	4	4
1	文化財について解説し、正確な情報を提供する	設置した文化財説明板・標柱の数		部	20	12	15	15
ウ	清掃等周辺整備を行う	環境整備を実施する文化財の数		件	46	46	46	46
	<b>結果</b> (どんな結果に 結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達) を表す指標		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	文化財を適切に保存し、後世に 残す	整備する文化財の数(累計)		件	237	248	284	305
1								

(2	) 事業賃			単位:千円
		21 <sup>年</sup> (決	F度 算)	22年度 (予算)
予	当初予算額	8	3,604	15,942
算	補正予算額			
額	予算合計	8	3,604	15,942

	国庫補助金	
	県支出金	
決算	地方債	
解額	その他	
	一般財源	8,729
	支出合計	8,729

# (3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

見学者のために、文化財周辺を含めた環境整 風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年 備や文化財の正確な情報を提供する目的で説 明板を設置した。

事務事業を取り巻〈環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか?

発生している。 草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なく なった。

## この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

この事務事業に対する議会から出された 意見

- ・般市民から
- ・文化財の経緯等が、説明板でわかった。
- ・草払いや掃除で、きれいになった。 ・案内標柱を設置して欲しい場所がある。

特になし

 事務事業<br/>コード
 774310
 事務<br/>事業名
 文化財整備事業
 担当部 教育部<br/>担当課 文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

			വ	体名	3・協	議会	名				平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定		平成23年度 (予定)		
	氮	島神宮	<b>5</b>								補助金	6,000	補助金	10,800	補助金	10,800	
1	赤	\$ EXX 144 E	7								自主財源	24,000	自主財源	43,200	自主財源	43,200	
'		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	30,000	合計	54,000	合計	54,000	
		地区						0			自主財源率	80%	自主財源率	80%	自主財源率	80%	
	#	児島神	# <b>a</b>								補助金	487	補助金	973	補助金	973	
2	/tt	576 ED 11	** 白								自主財源	973	自主財源	1,947	自主財源	1,947	
_		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,460	合計	2,920	合計	2,920	
		地区							0		自主財源率	67%	自主財源率	67%	自主財源率	67%	
											補助金		補助金		補助金		
3	_										自主財源		自主財源		自主財源	1	
3		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
4											自主財源		自主財源		自主財源	ı	
4		7.1 234				霧島	隼人	福山	合計		合計		合計				
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
5											自主財源		自主財源		自主財源	ı	
5		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金	1	
6											自主財源		自主財源		自主財源		
0		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金	1	
7	_										自主財源		自主財源		自主財源	1	
′		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
8											自主財源		自主財源		自主財源		
0		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
9											自主財源		自主財源		自主財源	1	
9		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
10											自主財源		自主財源		自主財源		
10		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		地区	-								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
				討							補助金負担金合計	6,487	補助金負担金合計	11,773	補助金負担金合計	11,773	
							自主財源合計	24,973	自主財源合計	45,147	自主財源合計	45,147					
							自主財源率	79%	自主財源率	79%	自主財源率	79%					

負担金の状況

単位:千円

	ロニエッグルル							平	14. 十口
	団 体名:協議会名				平成23年度		負担金0	D支払先	
	四个一场成去一		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	8,604
補正予算	
合 計	8,604

<補正予	<u>算内訳 &gt;</u>				単位:千円
第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

	務事業 コード	774310	事 務事業名	文化財整	化財整備事業     担当額       担当課       文化振興課							
2	評価の	部 <see></see>				評価				評価理由		
А	<b>政</b> が・この	策体系との記 の事務事業の 基本シートの結:	<b>経合性</b> 0目的は基本事 5果)に結びつく			ついている す必要がある	<b></b>	見学者へ		養生等の整備		財説明看板で
目的妥当	・なのか	か?	又は負担しなけ	ければならない		す必要がある	<b></b>	られてきた	貴重な財産で	である。当市の	育まれ、今日 の財産を整備し 市の重要な責	し、広く市民
性評価	·対		限定又は追加す	すべきか?		である を見直す必要 を見直す必要		日まで守り	)伝えられてき	た貴重な文化	適切な範囲でる 化財を整備し、 こから意図も適	
В	•成 上さ	させることができ	状値をあるべき ぎきるか?		(十分	余地はない ↑に成果が出 余地がある	:ている)		化財の周辺整 けば、本事業の			板等を順次整
有効性	・補した	捕助金又は負担 た場合にどのよ	<b>成果への影響</b> 担金の交付を原 ような影響がある	廃止又は休止 るか?	■ 影響か				報提供もされて	ず、市民の文	されることはもち 化財愛護思想	思の低下につ
評価	•他 •統	也に同様の補助 充廃合や連携す	<b>統廃合・連携。</b> 助金又は負担金 することができた	金はないか?	□ 他に手	手段がない 手段がある 合できない 合できる	□ 連携 □ 連携		(他に	手段がある場 	合の事務事業	<b>纟名等)</b> 
C 効	・交 こと	とができないか	かけて、市の負担 ・?			余地がない 余地がある		している。	今後、文化財	活用の面から	下可欠な修復、 う考えて整備対 削減余地はない	対象を増やし
率 性 評 価	・やを肖	Pり方を工夫して 削減できないか		係る業務時間	■ 削減余地がない 本事業は概ね委託に、ついては、少人数で付 査を行っており、節減			少人数で仕村	様書作成、委	託先選定、契		
D公平性評価	・補 てい ・受	制助金又は負担 いて不公平でに 登益者負担が公	公平公正になっ	受益者に偏っっているか?		公正である	<b></b>	め、公平・	公正である。	━ ↑産であり、受	益者は広く市	民となるた
	1		果長)としての			(2)全体編	総括(振	り返り、反	省点)			
総括	B 和 C 交	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	<ul><li>■ 適切</li><li>□ 適切</li><li>■ 適切</li><li>■ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	必要がある 必要がある			页の現状を〕 引知を図る。	E確に把握し,	優先順位を	つけて計画的 	口な整備を行う
		方向性 <pl< th=""><th></th><th></th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>			<u> </u>							
	評価結	ま果にもとづく	〈今後の方向		•		2)廃止∑	くは休止す	べきとした均	易合の理由		
	<ul><li>□ 事業</li><li>■ 有效</li><li>□ 効率</li><li>□ 公</li></ul>	止 的再設定 業統合・連携 効性改善(成界 率性改善(コス 平性改善	[目的妥 [目 [有 <b>果向上</b> ) [有 <b>スト削減</b> )[効	☆平性⑨の結果	す効性⑥の約 ③の結果] 艮] 艮] 吉果] 吉果]							
(3)	具体的	かな改善計画	i	(1)のチェック	7項目に対	し、具体的に	こどのよう	に取り組む	のか			
文化い、動修復	<b>平成22</b> 公財の現2 整備計画	2年度の取組 状(案内板、標 画書作成の準値 した文化財に	]み概要及び 標柱等を含む)	が期待される効 について調査	<b>効果</b>	平成23章 化財の整備 の文化財巡	<b>年度に取</b> 請計画書を 巡視指導員	<b>Ⅵ組むべ</b> :作成し、計 員や地域の(	き具体的なF 画的な整備に	こ取組む。	化財の定期的	]な点検制度

評価対象	年度	平成 2	21年度	ŧ	事務	事	業	評	価 表	<b>&lt;一般用&gt;</b>	1
事務事	業	774	212	事 務	取刍+	中苗文	ルけ	杂坛:	調査事業	担 当 部 教育部	
	۴	//4	313	事業名	糸心に	上心人	. IUHI	元1/山	<b>则旦</b> 尹未	担 当 課 文化振興課	
政策:	名	4	育	み磨きあう	まちづく	り				グループ 文化財グループ	
施策	日	4	15 WAS 418 - MI-13 WE-3-							電話番号 42-1111	
基本事	業名	3	241974 2 M411 TEM							内線番号 5201	
	会計	一点	一般会計						± 114	□ 単年度のみ	
予	款	10	教:	育費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度~)	
算 科	項	6	社:	会教育費					, <del>,,,</del> ,,,,	□ 期間限定複数年度( ~ ~ )	
目	目	7	7 文化財保護費						根拠法令·	文化財保護法、霧島市文化財保護条例	
	ン   	774	774313						条例等	文化州 体设体、務面中文化州 体设术内	
関連計	画										
											_

# 1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 < Do >

#### 手段 (事務事業の概要)

埋蔵文化財が包蔵されている土地において開発行為により、破壊される埋蔵文化財を事前に発掘 調査し、その成果を報告書にまとめ、記録保存として遺跡を後世に残す。

# 平成21年度実績

民間開発及び公共事業に伴う緊急埋蔵文化 財発掘調査を実施した。

①福山牧之原地区②国分春山地区③溝辺町

曲迫遺跡

な 活

動

#### 平成22年度計画

①軍山遺跡の調査②緊急調査への対応

	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数		件	8	5	3	3
1	発掘調査報告書の数		₩	300	600	300	300
ウ							
	<b>対 象</b> (誰、何を 対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	周知の埋蔵文化財包蔵地	周知の埋蔵文化財包蔵地の数	力所	518	523	530	540
1	市民	人口	人	127,450	127,662	128,640	128,868
ゥ							
	意図 (対象を どうしたいのか)	<b>成果指標</b> (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	遺跡が記録保存される	記録保存された遺跡の数	件	8	5	3	3
1							
ゥ							
	<b>結果</b> (どんな結果に 結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	文化財をを適切に保存し、後世に 残す。	保存されている文化財の数	件	667	684	690	700
1							

#### (2)事業費 単位:千円 21年度 22年度 (決算) (予算) 当初予算額 1,634 10,701 補正予算額 額 予算合計 1,634 10,701 国庫補助金 0

#### 県支出金 0 地方債 0 その他 0 額 一般財源 528 支出合計 528

# (3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵 文化財の保護について取組んできた。霧島市 においても平成17年度(合併当初)から緊急 な発掘調査に対応するため予算を計上してい

この事務事業に対して誰からどんな 意見や要望が寄せられているか?

民間開発に伴う発掘調査については、民間業 者の意見として早急な対応をしてほしい。

## 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか?

緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきており、 工事立会い等も増加している。

この事務事業に対する議会から出された 意見

特になし

	务事業	774313	事 務 事業名	緊急埋蔵文	化財発掘調査	事業			担当部		-m
	ード								担当課		
		W 4		平成21年度			22年度 (当			23年度 (見	
1	報	単位∶千円 酬	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
2	給		<u> </u>								
3		手当等									
4	共	<u>; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; </u>				1	9	19	19		19
7	賃	金	(	61	61			4,017	4,017		4,017
8	報	償 費				3	)	30	30		30
9	旅	費					9	9	9		9
10	交	際費									
11	需	用 費				69		690	703		703
		耗品費				180		186	186		186
	燃					6	2	62	62		62
	食	料費				4.4	2	440	5		5
	_	熱水費				443	2	442	450		450
	修										
	الازا الازا	かロ									
12	役	務費				6	5	65	65		65
		信運搬費				6		60	60		60
	広	告 料									
	手						5	5	5		5
	保										
13	委	託 料	46	67	467			4,090	5,000		5,000
14		科及び賃借料				1,78	1	1,781	1,800		1,800
15		請負費									
16 17		材 料 費 財産購入費	-								
18		別									
19		ュース 員 注補助・交付金									
20	扶	助費									
21		付 金									
22	補償補	填及び賠償金									
23	償還金	利子·割引料									
24	投資	及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金計	5.	28	528	10,70	1	10,701	11,643		11,643
		国	0,	20	320	10,70		10,701	11,043		11,043
		_ <u>=</u> 県									
	地	<u></u> 方 債									
財	辺		1								
源	過	疎 債									
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の他				9,000		9,000	9,000		9,000
	— ;	般財源		28	528			1,701	2,643		2,643
		計	52	28	528	10,70	l	10,701	11,643		11,643
À	補助率	国 県				1					
補	助	基本額									
		初多算			1,634 千円		平成 21	年度 財源内	訳の「その代	りの内訳	
平成		正多算	<del> </del>		1,001 111	<del>-  </del>	1 72 21	1 12 101110113		J   JH/\	
	第1			第5回							
21	第2			第6回			参加費等	等の事業実施	のための収え	\説明	
年	第3			第7回							
度	第4			第8回							
	予:	算 合 計			1,634 千円						
_		·	·	·			·			·	_

	務事業  −ド	774313	事 務 事業名	緊急埋蔵	文化財列	<sup>発掘調査事業</sup>		担当部教育部担当課文化振興課			
2		阝 <see></see>				評価		評価理由			
A	・この (基)	本シートの結り	目的は基本事果)に結びつく			ついている す必要がある		を行為に伴い、周知の埋蔵文化財包蔵地を調査し、記することは、文化財を適切に保存することに結びつく。			
目的妥当	・このか	?	<b>当性</b> 市が行わなけ; 、達成する目自		■ 妥当	である す必要がある	各種法令 め妥当で	たにより、調査主体は行政であることが求められているた ある。			
性評価	対象	は・意図の妥				である を見直す必要がある を見直す必要がある		た遺跡・遺物についての実施であり, 対象・意図ともに 要はない。			
	成男	見の向上余5	也								
В	上さ	せることができ			(十分	余地はない 分に成果が出ている) 余地がある	緊急調査	Eに対処することについては向上余地はないと考える。			
有	廃」	Ł·休止の成	果への影響								
D 効性評	ようれ	よ影響があるた			■影響		文化財保とはできた				
温			<b>に廃合・連携</b>		■他に	手段がない		(他に手段がある場合の事務事業名等)			
	外 <i>の</i> ・類( り成)	手段はないた 以事業との統 果の向上が期	廃合や連携を 朋待できるか?	図ることによ		手段がある 統合できない □ 連携 統合できる □ 連携					
C 効	・成 か? ど)	(仕様や工法	事業費を削減 その適正化、住	民の協力な		余地がない 余地がある		こついては,作業に必要な最低限の消耗品費,光熱料,保険料,委託料しかなく,これ以上の削減は不可。			
率性評価	・や! を削 ・成! でき	り方を工夫して 減できないが 果を下げずに ないか?	職員以外の対	係る業務時間 対応や委託を	□削減	は別事業との兼務が多く,厳しい状況であるが,業務 に委託することによって業務時間を削減できる。但し, 経費負担が増となるため検討を要する。					
D公平性評価	・事	業の内容が一 、平ではないか	<b>負担の適正</b> -部の受益者に か? <字公正になっ	に偏っていて		・公正である	がある				
	(1)1 <b>次</b>	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	省点)			
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	<b>)</b>					
	B 有	i効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある			で、職員での対応が難しい場合が多いので、民間業			
括		)率性	□適切	■ 見直す必		■ 者の活用が必要で		について、事業主や建設業者への広報が必要である。			
-	D公	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	■適切	□ 見直す必		3(10 C) 1 - 1 C 1 - 3(	III EI ARACI	TO STATE VALUE OF THE PARTY OF			
2 4		方向性 <pl <="" th=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl>									
_			今後の方向	性		(2)廃止5	な休止で	すべきとした場合の理由			
( , )					効性(5)の		(IO)				
	□休止		[目的妥	·当性①②、有	効性⑤の	結果]					
	□目的	]再設定	[目	的妥当性①③	の結果]						
	□ 事業	統合·連携	[有	効性⑥の結果	<u> </u>						
		性改善(成果		効性④の結果	_						
			<b>卜削減</b> ) [効								
		·性改善	_	平性⑨の結果	_						
-	□ 現小	(維持・経統	⇒(3)具体的	りな以吾計画の	は小安						
(3)	目体的	な改善計画		(1)のチェック	1百日にな	けし、具体的にどのよう	に取り組ま	ን ው ለነ			
			み概要及び					でき具体的な内容			
調査を図	の効率( るとともに 専門性 <i>0</i>	とを高めるため こ、作業工程等	かに、作業従事 等の見直しを行 については、分	事者の専門性の	の向上事		こ対し、文化	比財包蔵地の周知の徹底を図るとともに、文化財の確			

評価対象	年度	平成 2	1年度	事務事	業評	価 表	<一般用>	>					様式1
事務事コー	-	7743	314 事 務 事業名	市内遺跡確	認事業				担 担	当当		教育部 文化振興課	
政策:	名	4	育み磨きあう	まちづくり					グリ	レー	プ	文化財グルー	プ
施策:	名	4	伝統文化の位	呆存•継承					電詞	舌番	号	42-1111	
基本事	業名	3	文化財の保存	字•整備					内約	泉番	号	5201	
	会計	一般	2会計			事业	□ 単年度	のみ					
予 算 科	款	10	教育費			事業 期間	■ 単年度	繰返(開始)	丰度	Н	11	年度~)	
<b>异</b> 科	項	6	社会教育費			2/11-0	□ 期間限	定複数年度	(		~	)	
目	目	7	文化財保護	- 費		根拠法令・	14年自治注: 7	ケルサル業法					
	コード	7743	314			条例等	地方自治法、为	人化別休喪仏					
関連計	一画												
1.現状批	現状把握 (1)事務事業の目的と指標 < Do >												
手段	<b>及</b> (事系	务事業の	り概要)					平	成21	年度	実績	Ę	
めの基礎資	資料を得	尋るため、	、幡関連遺跡(社) 、発掘調査(確認	調査)を行う。				大隅国纪 大隅国纪			禺正。	八幡宮跡・緊急	埋蔵文

#### を実施する。 な活 ①大隅国分寺跡及びその周辺(国分寺域内)の確認調査の実施。 平成22年度計画 ②大隅正八幡(鹿児島神宮)社家の確認調査の実施。 ③発掘調査(国庫補助対対象分)の実施。 ①沢氏館跡の調査②最勝寺氏館跡の調査③ 調査指導委員会の開催 20年度 21年度 22年度 23年度 活動指標(事務事業の活動量) 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) 範囲確認調査の数(整理作業含む) 件 3 ゥ 20年度 21年度 22年度 23年度 (③対象の大きさを (誰、何を 対象指標 単位 対 対象にしているのか) 表す指標 (実績) (実績) (見込) (見込) 大隅国分寺跡、大隅正八幡関連 範囲確認調査を必要としている遺跡の数 箇所 2 3 遺跡(社家館跡等) 市内にある周知の埋蔵文化財包 1 件 周知の埋蔵文化財包蔵地の数 518 523 525 527 蔵地 ゥ 20年度 21年度 22年度 23年度 (⑤意図の (対象を 成果指標 単位 意図 どうしたいのか) 達成度を表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 遺跡の範囲や遺物・遺構の残存 100 調査終了面積 m² 306 80 100 状況を把握する。 ウ 21年度 23年度 (どんな結果に (⑦結果の達成度 20年度 22年度 上位成果指標 単位 結び付けるのか) を表す指標) (実績) (見込) (見込) (実績) 適切に保存し、後世に残す。 保存されている文化財の数 カ所 667 684 690 710 1 (2)事業費 (3)事務事業の環境変化・住民意見等 単位∶千円 この事務事業は、いつ頃、どのような 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 21年度 22年度 は5年前と比べてどう変わったのか? きっかけで開始されたのか? (決算) (予算) 大隅国分寺跡の整備を図るための範囲等確認 一時期に比べ、開発行為が増えてきており、確認調 当初予算額 7,010 5,010 予 を平成11年から国庫補助を導入し開始した。 査及び工事立会いの件数も増加傾向である。 補正予算額 また、大隅正八幡(鹿児島神宮)関連遺跡群の 範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺 算 範囲確認調査も平成12年度から補助事業を導跡に関する調査結果が得られた。 額 予算合計 5,010 7,010 入し実施している。 国庫補助金 3,500 この事務事業に対して誰からどんな意 この事務事業に対する議会から出された 見や要望が寄せられているか? 意見 県支出金 700 国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等 大隅国分寺跡前の市道拡張と文化財との調整につ 地方債 0 の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や 算 その他 0 遺跡保存の必要性の指摘を受けている。 額 方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を -般財源 2,800 求められている。

# 支出合計 7,000

	务事業	774314	事務	市内遺跡確認	事業				担当部		
	ード								担当課	文化振興	
				平成21年度 (決			2年度 (当初			.23年度 (見	
	40	単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	州									
2	給	料									
3		手当等									
4	共	済 費		15	15		12	12		15	15
7	賃	金		4,802	4,802		2,428	2,428		4,802	4,802
8	報	償 費		60	60		140	140		13	13
9	旅	費		272	272		985	985		980	980
10	交	際費									
11	需	用 費		757	757		120	120		820	820
	消	耗 品 費		339	339		105	105		300	300
	燃	料 費		20	20		5	5		20	20
	食	料 費									
	ED	刷製本費		351	351		10	10		500	500
	光	熱水費		47	47						
	修	繕 料									
12	役	務 費					169	169		150	150
	通	信運搬費									
	広	告 料									
	手						169	169		150	150
	保										
13	委	託 料	1	750	750		1,090	1,090		900	900
14		料及び賃借料		344	344		66	66		320	320
15		請負費									
16		材料費									
17		財産購入費									
18		購入費									
19		·補助·交付金									
20	扶	助費									
21		付 金									
22		填及び賠償金									
23		利子·割引料									
24		及び出資金									
25	積	立金									
26	 寄	 附  金									
27	公										
28	 繰	出 金									
	mA.	計		7,000	7,000		5,010	5,010		8,000	8,000
		国		3,500	3,500		2,500	2,500		4,000	4,000
		<u>=</u> - 県		700	700		500	500		800	800
	地	<del></del> 方  債	<del>                                     </del>	100	700		500	000		300	300
n.1	辺										
財源	過										
内		併特例債									
訳		וין פר וען פר וען									
	そ	の他	1								
			1	2,800	2,800		2,010	2,010		3,200	3,200
	1	<u>取 別 <i>派</i></u> 計		7,000	7,000		5,010	5,010		8,000	8,000
		-		1,000	1,000		0,010	0,010		0,000	0,000
衤	補助率	国 果	<del> </del>								
補	助										
					7.010 7 11		ਜ਼-* ੦		二の「ファツ	. A±-□	
平		初多算			7,010 千円	<u> </u>	平成 21 年	F度 財源内	訳の「その他	リの内訳	
成		正 予 算									
21	第1			第5回			<b>⇔</b> 1= <del>+</del> ~	<b>の事业亡</b> 生	0+11-511-1	<u>+</u> ⊻ п□	
	第 2		<b>_</b>	第6回			参加費等	の事業実施の	のための収 <i>)</i>	\ 記明	
年度	第3			第7回							
度	第4			第8回							
	予:	算 合 計			7,010 千円						

_	務事業	774314	事 務 事業名	市内遺跡	確認事業	É		<u>担</u> 担		部 教育部
2	評価の音	了 <see></see>				評価			評価理	<u></u>
Α	<b>政</b> 第 ・この (基本	を体系との量の事務事業の本シートの結果	<b>全合性</b> 目的は基本事 果) に結びつく			ついている す必要がある	れを保存・! 化を正しく!	整備することにより、	市民や課	は本市を代表する文化財であり、こ 霧島を訪れた人が本市の歴史・文 が深まるとともに、文化財を大切に
目的妥当	・このか	?	<b>当性</b> 市が行わなけぇ 、達成する目自		■ 妥当	である す必要がある	方公共団		されてお	台法並びに文化財保護法で地 6り、文化財の保護・整備は市 食である。
性評価		<b>泉・意図の妥</b> 象や意図を限	<b>当性</b> 記定又は追加す	-べきか <b>?</b>		である を見直す必要がある を見直す必要がある	化が進む		裏・消失	遺跡は市街地内にあり、都市 が懸念されているところである
В	•成!	<b>・ の向上余り</b> 果指標の現状 せることができ	:値をあるべき	水準まで向	(十分	余地はない かに成果が出ている) 余地がある	調査が進向上してい		節囲や	遺構が判明するので成果は
有効性	·事		<b>果への影響</b> :又は休止した か?		■ 影響:			も市街地にあり都 と、遺跡の破壊・?		進んできている。このままの状 乗念される。
評価	<b>類似</b> ・目的 外の	的を達成する 手段はないか		)事務事業以		手段がない 手段がある		(他に手	設がある	場合の事務事業名等)
C	り成	果の向上が期 <b>資の削減</b> 分			□ 統	を合できない □ 連携 を合できる □ 連携	できる	の作業のほとん	ビが手作	F業であり、また現地は市街地
効率	か? ど) <b>人作</b>	(仕様や工法 <b>・費(延べ業</b>	事業費を削減 の適正化、住 <b>務時間)の</b> 間	民の協力な <b>川減余地</b>	□削減	余地がない 余地がある	で、作業を	効率も悪く、事業	費削減	
性評価	を削 ・成! でき	減できないか 果を下げずに ないか?	職員以外の対	かけ かっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	の事務量の軽減を図ることができる。但し、3 ■ 削減余地がある は必要となる。 本来、文化財は国民共有の財産であり、とり					
D公平性評価	·事 不公	業の内容が一 <pre>※平ではないが</pre>	<b>負担の適正</b> ・部の受益者に い? 、平公正になっ	に偏っていて		·公正である す必要がある	域の歴史 自治法並	を色濃く残すもの びに文化財保護	)である。 法で地	であり、とりわけ遺跡はその地。文化財の保護と活用は地方 。文化財の保護と活用は地方 方公共団体の責務と規定され 行政が実施するのはやむを
	(1)1%	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	1, 0	省点)		
総	B 有	的妥当性 前効性 1率性	<ul><li>■ 適切</li><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li></ul>	□ 見直す必 ■ 見直す必 ■ 見直す必	必要がある	員の意見を調査に	反映させる	ためは、精密機		しており、調査指導委員会委 入や文化財専門員を保有して
	D公	字性 字性 <b>方向性 &lt; PL</b> /	■適切	□ 見直す必		, szinke	安武が必え	安と与えている。		
_			今後の方向	性		(2)廃止又	くは休止す	「べきとした場合	今の理	曲
	■ 有效 ■ 効率 □ 公平	こ ]再設定 終統合・連携 ]性改善(成果 逐性改善(コス 『性改善	[目的妥 [目 [有 <b>【向上</b> ) [有 <b>卜削減</b> ) [効	平性⑨の結果	効性⑤の の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -					
(3		な改善計画				し、具体的にどのよう	に取り組を	うのか		
埋産する	<b>平成22</b> <b>変</b> 文化財専 いことで、事	年度の取組 専門の測量員 事業の効率性	み概要及び がいる民間業	<b>期待される対</b> 者を積極的に	<b>力果</b> 活用 国	平成23年度に見  指定具申に向けての	双り組むべ	き具体的な内容		

評値	西対象年度	平成 21年度	事	務 事 業 評	価 表	<一般用	>				様式1
	事務事業 コード	774315 事	孫 漢名 埋蔵	藏文化財調査事業				担		教育部	<del>a</del> m
	政策名		<b>!乗石  </b> 揺きあうまちづ	5 <n< th=""><th></th><th></th><th></th><th><u>担</u></th><th>当課ループ</th><th>文化振興語</th><th></th></n<>				<u>担</u>	当課ループ	文化振興語	
	施策名	, , , , ,	化の保存・総						話番号	42-1111	
基	本事業名	3 文化則	けの保存・整備	Ħ				内	線番号	5201	
	会計	一般会計			事業	□単年月					
	予 款	10 教育費			期間			(開始年月	_	年度~	)
	科	6 社会教 7 文化財	対育費 対保護費		1014074	□期間	艮正孩	夏数年度(	~		)
		774315			根拠法令· 条例等	文化財保護法	去、霧』	島市文化財保	R護条例		
		111010			1011110110						
1.	現状把握	(1)事務事業の	)目的と指標	< Do >							
	<b>手段</b> (事系	8事業の概要)						平成2	21年度実績	į	
類別 <幸 平	川に整理しまとる 会告書作成日和 成20年度	めて報告書を作成	対する。	発掘調査により出土し	<b>した遺物を実</b> え	則し、時代別種	主な	福山地区中 告書刊行	□柚木遺跡・	弥勒院跡発	掘調査報
		貴物実測·報告書					活動	平成2	22年度計画	Ī	
							坐刀				
								亀ノ甲遺跡	・気色の杜鵑	遺跡出土品團	<b>E</b> 理作業
	活動指標(	事務事業の活動量	量)			単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	発掘の面積					m²		6,000	300	500	500
1	調査する文化	財の数				件		0	0	2	2
ゥ											
		(何を	対象	指標 (③対象の)		単位		20年度	21年度	22年度	23年度
ア	文化財(埋蔵)	象にしているのか 文化財)	4)	える。	きす指標)	点		(実績) 2,500	(実績) 2,500	( <b>見込</b> ) 3,000	(見込) 3,000
1		JJ	調本)たっ	 文化財の数		件		0	0	2	2
		"	明且した	くに対するが		IT		0	0	2	
ウ	7.1.	. Ar h		(Q*D*				00左座	04/万亩	00亿亩	00左座
	意図(茶	象を どうしたいのか	成果	指標 <sup>(⑤</sup> 意図の 達成度を	を表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	実測・接合し	<b></b> 片代別に整理する	整理した道	貴物		点		500	700	150	500
1											
ゥ	(12			(0.11)	FF - >- 1			00左座	0.4左南	00亿亩	00左座
	結果 (ど	んな結果に 結び付けるのか)	上位		果の達成度 表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	適切に保存し	、後世に残す。	保存されて	ている文化財の数		件		667	684	690	700
1											
	事業費		単位∶千円	(3)事務事業の環	情恋化・住	<b>民音目等</b>					
( -		21年度	22年度	この事務事業	は、いつ頃、	どのような		事務事業を			
		(決算)	(予算)	きっかけで開始 合併前にそれぞれの				は5年前と テ為に伴う発			
予	当初予算額		3,264	伴う埋蔵文化財発掘	品調査を実施)	した。その遺	埋蔵	文化財担当職	は員の他部署	と の異動や	や仕事量の
算額	補正予算額	0		跡の整理作業を行いがある。	へ、報告書を作	作成する必要		こよって、発拮 いる。	屈調査を単年	<b>手度で完了</b> で	ごきなくなっ
디저	予算合計	6,245	3,264					-			
	国庫補助金	0		この事務事業	こ対して誰も	いらどんか音		この事務事		る議会から	出された
	県支出金	0		見や要望が寄				意見	× (⊂ ∧ ) 7 €	ытх ⇔ (Л)	LI C1 0/C
決算	地方債	0		公共工事・民間開発		迅速な対応					
算額	その他	0		をして欲しいとの要望	<b>至かある。</b>						
니저	一般財源	6,157									

支出合計

6,157

	多事業	774315	事務	埋蔵文化則	才調査事業				担当部		-ш
	ード							T - 7 6/2 \	担当課		
		単位∶千円	単独	平成21年度 補助		坐放2 単独	22年度 (当社 補助	<u>り予算)</u> │ 合計	単独	23年度 (見 補助	<u>込)</u> 合計
1	報	CII·如 <del>丰</del> Mi	半红	(VABIT		+1年	THIAN		干红	THEAT	
2	給	料									
3		手当等									
4	共	済 費		2	2	11		11	11		11
7	賃	金	2,75	56	2,756	2,226		2,226	2,300		2,300
8	報	償 費		10	10				1		1
9	旅	費				5		5	5		5
10	交	際費						0.71			
11	需	用費	1,75		1,737	851		851	1,037		1,037
		耗品費	10	00	100	71		71	100		100
	燃食	料費料費		7	7	51		51	7		7
		刷製本費	1,39	99	1,399	30		30	200		200
		熱水費		13	213	669		669	700		700
	修			18	18	30		30	30		30
	1.0	.a 11									
12	役	務 費	(	99	99	35		35	99		99
	通	信運搬費		80	80	35		35	80		80
	広	告 料									
	手										
	保	険 料		19	19				19		19
13	委	託 料	1,46		1,460	42		42	1,500		1,500
14		科及び賃借料	(	93	93	94		94	90		90
15		請負費									
16 17		材 料 費 財産購入費									
18		切性 開入員	1								
19		・ 編 八 員 :補助·交付金									
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22	補償補	填及び賠償金									
23	償還金	利子·割引料									
24	投資	及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金計	6,15	57	6,157	3,264		3,264	5,043		5,043
		国	0,10	31	0,137	3,204		3,204	5,045		5,045
		_ <u>単</u> 県	<del> </del>								
	地	 方  債									
財	辺	地債	1								
源	過										
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の 他									
	— ;	般 財源	6,15		6,157	3,264		3,264	5,043		5,043
		計	6,15	57	6,157	3,264		3,264	5,043		5,043
Ř	補助率	国	1								
補		<b>県</b> 基本額									
					6 945 <b>壬</b> 田	<del></del>	亚世 24.4	丰度 財源内	記の「その生	h. Orbin	
平成		初 予 算 正 予 算	1		6,245 千円	$\dashv$	十八 21 1	+皮 奶源内	かっての他	いいいい	
	第 1			第5回		-					
21	第 2		<del>                                     </del>	第6回		<del></del>	参加費等	の事業実施の	のための収 ノ	入説明	
年	第3			第7回		<b>─</b>	<i>∠</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		-Hrv-13	
度	第4		1	第8回		<del>     </del>					
		<del></del>			6,245 千円						
			•								

	務事業 ]ード	774315	事 務 事業名	埋蔵文化	財調査事	 i業	担当部教育部担当課文化振興課
2		S < SEE >				評価	評価理由
Α	• = 0		<b>≦合性</b> 目的は基本事 果)に結びつく			ついている す必要がある	埋蔵文化財の調査結果をまとめることは、記録保存され後世に 残ることとなり、文化財の適切な保存に結びつく。
目的妥当	<b>公夫</b> ・この のか	<b>関与の妥</b> )事業をなぜi ?		ればならない	■ 妥当で		文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。
性評価	対錫	・意図の妥				である を見直す必要がある を見直す必要がある	埋蔵文化財を対象として、時代別に整理すること意図としており 適切である。
	成果	の向上余り	t t				
В	上さ	せることがで			(十分	余地はない に成果が出ている) 余地がある	遺物を年代別に整理することで、適切な保存がなされたことになるので、成果の向上余地はある。
有効性	·事		<b>果への影響</b> :又は休止した か?		■影響が		埋蔵文化財や包蔵地内での開発に関する手続き方法の周知を 実施することは、文化財保護部局としては当然しなければならないものであり、埋蔵文化財保護の初歩的な事業なので、廃止・ 休止することはできない。
評価	・目自		<b>応廃合・連携</b> ( ためには、この			手段がない	(他に手段がある場合の事務事業名等)
	•類(	以事業との統	か? 廃合や連携を 明待できるか?	図ることによ	□統	手段がある 合できない □ 連携 合できる □ 連携	
C 効	・成り		<b>余地</b> 事業費を削減 この適正化、住			全地がない 全地がある	事業の一部を委託することで全体経費を削減できる。
双率性評価	<b>人作</b> ・やり を削・成身	)方を工夫して 減できないか	務時間)の間 て事務事業に付いる。 いる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	系る業務時間		余地がない 余地がある	業務委託を行うことで、職員の業務時間削減は可能である。
D公平性評価	・事 <sup>3</sup> 不公	業の内容が- ・平ではないな	<b>負担の適正</b> 部の受益者に か? 、平公正になっ	に偏っていて		公正である す必要がある	各種法令に基づき実施しており公平・公正である。
	(1)1次	(課価者)	長)としての	評価結果	•	(2)全体総括(振	り返り、反省点)
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある		
	B 有	効性	□ 適切	■ 見直す必	必要がある		ない遺物については、年次整理計画を作成し、できるだけ早い
括	C 効	率性	□ 適切	■ 見直す必	必要がある	時期に整理が終了	· するよう務める必要がある。
	D 公	平性	■適切	□ 見直す必	必要がある		
		i向性 < PL/		Total Control of the	<u> </u>		
(1)		•••	今後の方向				(は休止すべきとした場合の理由
	□ 廃止		2,	·当性①②、有 ·当性①②、有	,, <u> </u>		
				ョ 1.0 € 、			
	□事業	統合·連携	<u> </u>	効性⑥の結果			
		性改善(成集		効性④の結果	_		
			ト削減) [効				
			L公 ⇒(3) 具体的	平性⑨の結果	_		
		WE 10 WE WIL	7 (0) <del>X</del> (4)	がない日刊画	14.1.女	<u> </u>	
(3)	具体的	は改善計画		(1)のチェック	項目に対	し、具体的にどのよう	に取り組むのか
	の一部を		<b>み概要及び</b> することで、職		間削減 現	1 1 10 - 1 1221 - 1	双り組むべき具体的な内容 問調査機関へ業務の一部を委託することで、さらに全体経費及 削減を図っていく。

野野竜   174322   野栗名   174322   1743	評任	面対象年	隻 平月	成 21年度	事	務事業 評	4 価 表	<補助金	· <b>負担金用</b> >			様式2
政策名   4   年の東西が大きらくり			-		事務 山久	ア野金山ウォーキ	ング大会開催	事業				<b>里</b>
基本		-	4			<b>うくり</b>						
公計   一次会計   一次会計   事業 期間						継承						ĺ
数	基				財の活用					線番号	6382	
項目 6   社会教育後										<b>き</b> 1114	年度~	)
日   7   文化部保護費   一関体の運営支援   一関体の通営支援   一関体の活動支援   1 (47)ト等の補助   協議会等負担金   1 (現状記述 (1)事以主傷の自動を指す   200   1 (現状記述 (1)事以主傷の声(機別)   20   2 (国体の活動を対象 (20 ) (国体的 (20 ) (国		算 -					期間			~	- T/Q	)
福助金   到極の運営支援   団体の運営支援   団体の運営支援   国体の活動支援   国本の対象経営   日本の政治を表していただく。			∄ 7	7 文化原	材保護費							
国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手支援   国体の連手交   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日			- F	158090			条例等					
□・野産山皮房かくかとしてウォーキング (空中学生による案内(原明) ②形に地区民により為集の信仰 (国来 主新の政策) 単位 (実施) (実施) (現込) (現込) (現込) (現込) (現込) (現込) (現込) (現込				□団体のi	運営支援	□ 団体の活動	支援   ■	イベント等の	D補助 🗆 協	議会等負	坦金	
□ 野金山 東蘇	1.	現状把握	(1	) 事務事業(	の目的と指標	< Do >						
選動機機 (年務事業の活動量)	1 3 4	・野金山史 山ケ野金山 地元地区民	跡めぐり のウォー	)としてウォー ーキング 場茶の接待	②中学生に ④郷土芸能	こよる案内(説明) の披露	金山史跡とふる	さとの香りを味	わいながらウォーキ	ングを楽しん	<i>っ</i> でいただく,	>
選動機機 (年務事業の活動量)	補	助金·鱼	担金の	交付先 山	ヶ野金川文化	財保護活用実行委	量会 <b>補</b> 目	加金の対象網	<b>圣費</b> 1.447.295			
大田   1988	- 111					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	A 1102		20年度			
地元ボウンティア   人   260   270   250									(1 1111)	(1 1111)		(12:2)
対象 (誰、何を 対象にしているのか) 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標) 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込	-											
対象 (誰、何を 対象にしているのか) 対象指標 (③対象の大きさを 表 中指標) 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込	1	地元ボラン	/ティア					人	260	270	250	250
### 対象にしているのか)	ウ											
7		対象			対象			単位				
<ul> <li>意図 (対象を</li></ul>	ア	霧島市民	,,,,,,,,,,				27 16 147	人				
<ul> <li>意図 (対象を</li></ul>	1	雲皀市早!	以外の	Į.	雲皀市早	EI ALO I		λ.				<u> </u>
上の	_					(② 辛回 🗸	)		20年度	21年度	22年度	23年度
正しく理解していただく。				どうしたいのた	(1.3)	<b>道保</b> 達成原		甲位				
##	ア	正しく理解	してい	ただく。	リオーキン	グ参加者		人	285	309	300	350
##	1					/ティア		人	260	270	250	250
#10 (実績) (実績) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込	ゥ											
マル財を学び郷土の歴史を正しく ウォーキング参加者 285 309 350 300 300 4 285 309 350 300 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 300 350 35		結果			. ⊢位			単位				
理解する。	_		7111	0 13:7 0 :	1 /	7	を表す指標)	1 12	(美額)	(1 111)		
(2)事業費       単位:千円       (3)事務事業の現境変化・住民意見等         21年度 (決算)       22年度 (決算)       (予算)         30       530         30       10         30       530         31       530         32       10         33       10         34       530         35       10         36       10         37       10         38       10         39       10         30       10         30       10         30       10         30       10         30       10         30       10         30       10         30       10         31       10         32       10         33       10         34       10         35       10         36       10         37       10         38       10         39       10         30       10         30       10         30       10         30       10         30	<i>y</i>				リオーキン	グ			280	309	350	300
21年度 (決算)22年度 (決算)この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は 5 年前と比べてどう変わったのか?予算 補正予算額												
(決算) (予算)   きっかけで開始されたのか?   は5年前と比べてどう変わったのか?	(2	) 事業費							# 75 # NV +	- TT 10 244 / TT	U	/. n.t. #D. ==
当初予算額   540   530   14年度から実施している。   14年度から実施している。   14年度から実施している。   14年度から実施している。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域によるには、 20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域によるには、 20地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。   20地域によるには、 20地域によるにはなるにはなるにはなるにはなるにはなるにはなるにはなるにはなるにはなるにはな												
第 補正予算額	7	当初予算	<b>筆額</b>					の一環として				
プ昇音計       530         法決 博館       エの事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?       この事務事業に対する議会から出された意見         大会       ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によろこばれ、山ケ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。		補正予算	<b>筆額</b>			14年度から実施し	<b>こている。</b>			針(ボランティ	ア)の高齢化	とが進んで
県支出金       見や要望が寄せられているか?       意見         けた債       ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によろこばれ、山ケ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。	額	予算合言	†		530							
県支出金       見や要望が寄せられているか?       意見         けた債       ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によろこばれ、山ケ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。					_							
決決       地方債       ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によろこばれ、山ケ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。		国庫補助	力金							業に対する	る議会から	出された
算額       てなしや中学生による案内説明によろこばれ、山ケ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。	24		È		_				意見			
額       その他       山ケ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。	算				_	てなしや中学生に	よる案内説明に	こよろこばれ、				
一般財源 540 を知ったという意見が多数ある。	額		_									
文山百計   540					4							
		文出台記	T	540	J							

 事務事業 コード
 774320
 事務 事業名
 山ケ野金山ウォーキング大会開催事業
 担当部 教育部 担当課 文化振興課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		Ī	体	名·協	議会	名				平成21年 (決算)	度	平成22年/ (予定)	度	平成23年 (予定)	
	ılı <b>⊢</b> ⊞3	全山立	(V 8+/5	護活用	中仁禾	吕스			8 人	補助金	540	補助金	530	補助金	530
,	山ヶ町	並叫又	化拟体	碳/白州	夫1]安	貝云			0 八	自主財源	907	自主財源	907	自主財源	900
1	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,447	合計	1,437	合計	1,430
	地区	<u> </u>			0					自主財源率	63%	自主財源率	63%	自主財源率	63%
										補助金		補助金		補助金	
2										自主財源		自主財源		自主財源	
2	対象		国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	2								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
2										自主財源		自主財源		自主財源	
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	[								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
,										自主財源		自主財源		自主財源	
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	[								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	5								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	[								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	2								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	5								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	_								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
10										自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区	2								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			ļ	i†					8 人	補助金負担金合計	540	補助金負担金合計	530	補助金負担金合計	530
_										自主財源合計	907	自主財源合計	907	自主財源合計	900
										自主財源率	63%	自主財源率	63%	自主財源率	63%

負担金の状況

単位:千円

	団 体 名·協議 会 名				平成23年度		負担金0	D支払先	
	四 体 石 . 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	540
補正予算	
合 計	540

	<補正予	算内訳 >					単	位:千円
I	第1回		第4回		第7回	回		
I	第2回		第5回		第8回	<b>1</b>		
I	第3回		第6回					

	務事業  ード	774320	事 務 事業名	山ケ野金	山ウォー	ウォーキング大会開催事績			担当部教育部       担当課文化振興課				
2	平価の語	那 <see></see>				評価				評価理	由		
А	<b>政党</b> ・この (基	<b>賃体系との</b> の事務事業の 本シートの結	<b>を合性</b> 目的は基本事 果)に結びつく			ついている す必要が	地域の活性化に対撃がるので政策体系に結び					ひことができ、	
目的妥当性	・なのか	7.9	は負担しなけ	ればならない	<ul><li>■ 妥当である</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>■ 適切である</li><li>□ 対象を見直す必要がある</li><li>□ 意図を見直す必要がある</li></ul>			霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し文化財の保存・伝承について理解を深めたり、地域の活性化図ることは市の役割である。					
性評価		<b>泉・意図の妥</b> 象や意図を限	<b>当性</b> 見定又は追加す	<sup>↑</sup> べきか?					山ウォーキンク ことが重要であ		加者が文化財に	こ対する意識	
В	・成 上さ	せることができ	さ値をあるべき きるか?		<ul><li>向上余地はない (十分に成果が出ている)</li><li>向上余地がある</li><li>影響がある</li><li>影響がない</li></ul>			ス設定、L より効果を	山ケ野地区住」 と上げるためま	民の協力、 発行委員会	加者数、案内説 中学生による案 で検討しているだ に限の努力をい	内説明など、 タシ、現段階で	
有効性部	・補 した	助金又は負担 場合にどのよ	<b>果への影響</b> 日金の交付を房 うな影響がある	逐止又は休止 るか?				山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にする。 を育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらいは年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。					
価	•他	類似事業との統廃合・連携の可能性・他に同様の補助金又は負担金はないか?・統廃合や連携することができないか?				■ 他に手段がない  □ 他に手段がある □ 統合できない □ 連携 □ 統合できる □ 連携			(他に手段がある場合の事務事業名等)				
C 効	·交	<b>養愛の削減</b> 付先に働きか ができないか	けて、市の負担	担を削減する	■ 削減余地がない □ 削減余地がある			よる運営を		。総事業費	面的協力及びポ その半額を参加す かている。		
<sup>後</sup> 率性評価	ج.	`	<b>務時間)の間</b> で事務事業にかっ?		■ 削減余地がない  □ 削減余地がある			約250名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分 に実施している。					
D公平性評価	•補 てV	助金又は負担 で不公平では	<b>負担の適正</b> 日金が一部の受 はないか? 公平公正になっ	受益者に偏っ	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある			事業の案内については、市報・チラシなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方々が公平に参加できるよ。配慮している。また、参加者は参加費を出していることから、公平である。					
242			長)としての				体総括(振	り返り、反	省点)				
総括	B 有 C 交	1的妥当性 5効性 1)率性 \(`平性	■ 適切 ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切	<ul><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>	が要がある が要がある	文化財に携わ					て、ウォーキンク 繋がる事業と考 <i>え</i>		
_		方向性 < PL		•									
(1)			今後の方向	-	-H N O O	64 m 7	(2)廃止又	は休止す	けべきとしたり	<b>場</b> 合の理E	Ħ		
	<ul><li>□ 事第</li><li>□ 有交</li><li>□ 効率</li><li>□ 公平</li></ul>	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	[目的妥 [目 [有 <b>[向上</b> ] [有 <b> -  消</b> ] [効	率性⑦⑧の結 平性⑨の結果	効性⑥の の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -								
		な改善計画		(1)のチェック									
平成多くの域住	22年度 の参加者 民の高 えられる	は第10回をも があるように、 静化が進み、ス	み概要及び! かえ、記念す 、参加費等をも ボランティアの こなボランティブ	べき大会であ 食討したい。ま 人数が減少す	る。より 山 た、地 ること る	」ケ野金山 会」が主。 か。教育委	ロウォーキング となり運営を 員会職員が	がは、地元のし、教育委	員会横川出張	る「山ケ野金 長所が事務」	⊵山文化財保護 局としてバックア 生を持たせ、職員	ップしてい	

評1	山对冢年度	半风	21年度	<b>#</b> :	務 争 🥫	東部(	四一表	<一般用	>				様式1					
Į	事務事業 コード	774	4321 事	事 務 市原 事業名 市原	内史跡めぐ	り開催事業	Ě			担担		教育部 文化振興詞	<b>■</b>					
	 政策名	4		響きあうまちつ								文化財グル						
	施策名	4		文化の保存・液							話番号	<b>女化房ファ</b> 42-1111						
1	本事業名	4		オの活用	业/代						線番号	5201	L					
4	会計	_	般会計	61 4541111				□単年	きのみ		冰田力	5201						
	予款	10	教育				事業	■ 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度~)										
	算	6		· 教育費			期間			夏数年度(	<b>2</b> 11 10	TIX .	)					
	科 <u>場</u> 目 目	7		以 対保護費		-	日加汁人		-IX AL 12	××× — 1× (			)					
		·	4321	71小62月		1	根拠法令· 条例等	特になし										
			1021				13177313											
		/1\E	黎雪坐	の目的と指標	< Do >													
					\ D0 /					平成2	21年度実績	Ē						
	手 段 (事									1 13%2		~						
心地 財か への	也として、さらに ゞ点在している	は近t 。そこ 愛郷心	世に至るまで、地域住 で、地域住 いを高揚す	り、クマソ・ハヤ で産業・経済の :民が霧島市内 るとともに、文イ 集	)中心地として の文化財を見	て栄えてきた 見学すること	と。市内には とで、文化則	は数多くの文化	主主な	市内史跡め								
27	5内全域を対象	見にした	た年8回の!	史跡めぐり(徒					活動	平成2	22年度計画	Ī						
③ 5	」字資料の配布	帀•参刀	『料の徴収	((徒歩:300円,	バス:700円)	)			里川	市内史跡め	ぐり							
	活動指標(	事務事	¥業の活動	量)				単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)					
ア	史跡めぐりの多	実施回	 数					田		9	8	8	8					
1																		
・ ウ																		
	対象は	隹、何を		하습	指標	③対象の大	きさを	単位		20年度	21年度	22年度	23年度					
	XI	象にし	ているのた	(14)	1日代表	表。	片指標)			(実績)	(実績)	(見込)	(見込)					
ア	市民			人口			人	127,450	127,662	128,640	128,868							
1																		
ゥ																		
	意図(対	†象を ゾン	うしたいのか	成果	指標(⑤	意図の	表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)					
ア	郷土の歴史・文				0参加者数	<b>建</b> /从/文记。	X 9 1日1示/	人		388	237	300	310					
1		"		初めて史	跡めぐりに参		人 -				20	25						
ゥ																		
	結 果 <sup>(ど</sup>	んな約	吉果に	⊢ <i>k</i> ∺	成果指標		:の達成度	単位		20年度	21年度	22年度	23年度					
_	文化財を学び		付けるのか の歴史を正	1 /			す指標)			(実績)	(実績)	(見込)	(見込)					
	理解する			郷土の歴	史を学んだ市	†氏の数		人		9,254	9,512	9,600	9,800					
1																		
(2)	事業費			単位∶千円														
			21年度	22年度	この事	務事業は	、いつ頃、	どのような		事務事業を								
П	기/ 커디 코 호드 호크		(決算)	(予算)			されたのか	`! 歴史や文化財		は5年前と 17年に霧島で								
予	当初予算額		235	207	を広く知っ`				が郷_	土(霧島市)の								
算額	補正予算額	į	0		た。				寄せ、	ている。								
즩	予算合計		235	207														
	国庫補助金		0		- の事	孫重業に	対して誰+	いらどんな意		この事務事	*************************************	る議会から	出された					
	県支出金		0				られている			意見	~ (C \ ) 7 (	- HIX A /J · O						
決	地方債	+	0	1	市民から、	史跡めぐり	こついて、も	っと積極的に	特にな	`al								
算		-			広報してほ	ELV.												
額	その他	$\perp$	30	_	史跡めてりという要望が			続けてほしい										
	一般財源		87															
	支出合計		117															

	务事業 ード	774321	事務市内	史跡めぐり	開催事業				担当部担当課	教育部		
	— <sub>[</sub>			4左帝(法	<b>在</b> 、	ਜ਼ਰਾ	ᄼᄼᅉ	1 マ 笠 \				
出台, 壬田			単独	1年度 (決 補助	:昇) 合計	<u>平成2</u> 単独	2年度 (当初 補助	J予昇) 合計	平成23年度(見込)			
1	報	単位:千円 酬	半供	間助	ĦaT	平/出	間切	百計	半供	*用切	百計	
2	給											
3		. 手 当 等										
4	共	<u> </u>										
7	<u>六</u> 賃	金										
8	<u>兵</u> 報		18		18	20		20	20		20	
9	旅		10		10	20		20	20		20	
10	交											
11	需	用費	12		12	50		50	50		50	
		耗品費	12		12	50		50	50		50	
	燃	料費										
	食	料費										
	印	刷製本費										
	光	熱水費										
	修	繕 料										
L												
12	役	務費										
	通	信運搬費										
	広	告 料										
	手	数料										
	保	険 料										
13	委	託 料										
14		及び賃借料	87		87	137		137	137		137	
15		請負費										
16	原	材 料 費										
17		材産購入費										
18		購入費										
19		補助·交付金										
20	扶	助費										
21	貸	付 金										
-		填及び賠償金										
23		利子·割引料										
24		ひ出資金										
25	積	立金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金計	117		117	207		207	207		207	
		国	117		117	201		201	201		201	
		_ <u>串</u> 県										
	地	<del></del> 方  債										
- T	辺											
財源	過											
内		併特例債										
訳	_											
	そ	の他	30		30	123		123	123		123	
		段 財源	87		87	84		84	84		84	
		計	117		117	207		207	207		207	
,	出出垃	国										
<b>*</b>	甫助率	県										
補	助	基本額										
平	当	切 予 算			235 千円		平成 21 年	度 財源内	訳の「その他	の内訳		
成		E 予算				$\neg$   $\vdash$						
	第1		1	第5回								
21	第2		1	第6回			参加費等(	の事業実施の	のための収入	説明		
年	第3	回	1	第7回								
度	第4	回	1	第8回		バ	ス使用時500	円×30名×2	回=30,000円	3		
	予:	章 合 計			235 千円							
	•						_	_	_			

	務事業 ]ード	774321	事 務事業名	市内史跡	めぐり閉	開催事業		担当割教育部担当課文化振興課				
2	評価の音	B <see></see>				評価		評価理由				
		体系との						売り上の		-1- 4		U. 2 - 73 - 2 rm 477
A 目	(基)	本シートの結	目的は基本事 果) に結びつく			がついてい? 直す必要が	_	・ 文化財を大切にする心を持つことができる				
的妥	・この	?	市が行わなける		_ ■ 妥当である			霧島市の文化財を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。				存・伝承につい
当性		金を投入して <b>!:意図の妥</b>	、達成する目的	勺か?	■ 適切である							
評価			<b>ヨ</b> に 限定又は追加す	<sup>-</sup> べきか?	□対象	象を見直す	必要がある 必要がある		象として、郷 🗄 らり適切である		や文化を正しくヨ	理解することを意
	成男	との 向上余り	也									
В	上さ	せることがで			(+	□余地はな 分に成果 <i>た</i> □余地があ	が出ている)		診加者を増や↓ こいる人が増え			史、文化を正し
有	廃」	E·休止の成	果への影響					文化財の	周知や文化制	けを大切り	にする心を育ま	かいと 次第に
効 性	ようれ	よ影響がある				響がある 響がない		文化財の		芸能や風	習、さらには年	
評価	・目自		<b>免廃合・連携(</b> ためには、この		■ 他に手段がない □ 他に手段がある □ 統合できない □ 連携 □ 統合できる □ 連携				(他に	手段があ	る場合の事務事	事業名等)
	・類( り成	以事業との統 果の向上が其	廃合や連携を 明待できるか?	図ることによ								
C 効	·成		<b>余地</b> 二事業費を削減 去の適正化、住			域余地がな 域余地があ		予算で実	、外部講師の 施しているが 必要である。	謝金、バ 、参加者	スの借上げなと にさらなる参加#	、、必要最小限の 料を求めるなど
率												
性評価	を削 ・成り でき	減できないか 果を下げずに ないか?	職員以外の対	†応や委託を		<ul><li>■ 削減余地がない</li><li>□ 削減余地がある</li></ul>		本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は夕ら招聘することがある。) 事業の広報も市報やチラシで行っており、市民に広く呼び				(講師は外部か
D公平性短	・事	業の内容が- ・平ではない		に偏っていて		₽・公正であ		ている。 バスによる	ら史跡めぐりは	は募集人数	数に制限がある	に広く呼びかけ ため、はがきによ っているため公
評価			公平公正になっ		□ 見直す必要がある			平である。				
	(1)1 <b>ガ</b>	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	(点)			
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要があ	<b></b>						
	B 有	効性	□ 適切	■ 見直す必	必要があ	る 参加学	が固定化す	ス傾向にも	ふろので 広執	8等の給	計が必要である	
括	C 效	]率性	□ 適切	■ 見直す必				2) H	() () () (A)	以可以次	1177	5
	D 公	平性	■ 適切	□ 見直す必	必要があ	3						
3 :	今後のフ	i向性 <pl< th=""><th>AN&gt;</th><th>•</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>	AN>	•								
(1)	評価結	果にもとづく	今後の方向	性			(2)廃止又	くは休止す	「べきとした:	場合の理	里由	
	□ 廃止	-	[目的妥	当性①②、有	効性⑤0	り結果]						
	□ 休止			当性①②、有								
		用設定 *なる、速性	= :	的妥当性①③								
		┊統合∙連携 〕性改善(成界		効性⑥の結果 効性④の結果	_							
			. <b>卜削減</b> ) [効:		_							
				平性⑨の結果								
	□ 現状	t維持·継続	⇒(3)具体的	りな改善計画	は不要							
	•											
		な改善計画		(1)のチェック								
			み概要及び	朝待される対					き具体的な		コロナル ぐいー・コ	285540 3vv
福山ぐりを	地区で関		来める。 コーミュージア、 文化財を市民		史跡め		いのめるアー なコースの振			へれる。艾	己跡めくりコース	が固定化しない
		官へのチラシi か掘り起しを行	配布・学校への	)呼びかけを行	テい,新							